愛國婦人會機關

愛國婦人

每月五日二十日發行

一部金六錢　一ヶ月金拾六錢　半年分金六錢（?）全國無遞送料
廣告料一行四拾錢
本號全部禁轉載
東京麴町區（牛ヶ淵公園）　發行所　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

電話番町五百二十番

本號には附錄として評議員男爵夫人井上光子富山支部幹事小西ヨチ子廣島支部幹事長谷川芳子の肖像を添ふ

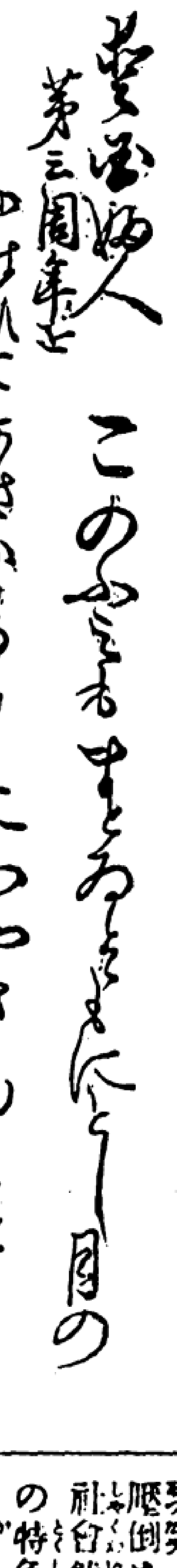
社說

○行啓

本月二日の本會第四回總會には畏れ多くも皇后陛下行啓あらせられたり。是れ實に前例なきことにして、我國に於て、民間の婦人團體に行啓あらせられたるは此回を以て、嚆矢となすといふ。而して此至大の名譽を擔へるもの、本會なるを思ふとき、會及び會員は其恩命の優渥なるに恐懼感激措く所を知らず、奮つて身を率ゐて、邦家の爲に盡し、以て其思召の萬一に答へ奉らんことを誓はざるを得んや。此恩命の下りたるは、直接には會及び會員、間接には廣く日本婦人の赤心奉公の振舞を畏くも陛下の善しと觀たまへるに因ると推し奉る。然らば此名譽は獨り會員のみならず、日本婦人全體に亘れるものと謂ふべし。我等は今回の行啓を以て、日本女史上紀念すべき一大事件となし、陛下の思召に感泣すると同時に、我國婦人に一層の發憤を望むものなり。

○本紙の三週年

我が「愛國婦人」新聞は、本紙を以て創刊三週年の運に達せり。烏兎匆々眞に夢の如く自ら行へる所に顧みて忸怩たらざるを得ず。諺に曰く、三日見ぬ間に櫻かなと、況んや三年をや。其間常に改良進步を計り、孜々營々事に當りしと雖も、尙希望の十一を滿たすに及ばず、讀者諸氏に孤負する所多きを耻づるに拘らず、諸氏は常に寬容を以て我等に臨まれ、單り愛讀を辱うせるのみならず、種々の盡力提撕を辭せられずして、遂に今日の隆盛を來し、數万の讀者を迎ふるを得るに至りたるは、誠に感謝の至りにたへず、夙夜、勉勵して以て、其愛顧の萬一に酬いんことを期す。思ふに、全國婦人の新聞雜誌其數尠しとせず、然れども其多くは女學生を顧客とするものにして、輕佻浮華、徒らに其歡心を得るに汲々として、眞に家庭の好伴侶たるもの少きを憾む。我が「愛國婦人」は、之に反し、其讀者は家政者を始め成年の婦人にして、華よりも實を好み、言辭よりも實際を重んぜらるゝものなるが故に、我等は常に此點に注意し、正味實益に饒にして、直ちに實踐躬行し得るものを說述紹介することに務めたるは、恐らく讀者諸氏に於ても諒承さるゝ所なるべし、則ち今後も此方針を以て進み、全力を竭して其實現に努めんと欲す。願くは倍舊の愛顧を給ひ、本紙をして我が國婦人無二の伴侶となし婦人思想界の最大動力たらしめられんことを。創刊三週年の佳節に當り、聊か希望を述べて、感謝の意を表すと云爾。



○團結の力

人は群居を好む動物なりとは、二千餘年の昔既にギリシヤの學者の唱へたる所なり、全く孤立の人間は思想の上には存すれども、實際はなきものなり。生れたまゝにて、野山に棄てられては、人は育つものにあらず。哺乳、おしめの世話、着物の脫ぎさせを始めとして、言ひ煩くされぬ面倒を他人にかけて、漸く人となるものなり、而して其獨立して一人前となるに及びても、尙家族、朋友、社會等より物質上精神上一層多くの恩惠を受けつゝ生活するなり、故に人は群居して他人に賴り賴られつゝ生活するが、最も幸福なるものなり、固より成長の後は單獨孤立の生活を爲し能はざるにあらねど、斯る生活は荒凉無味にして堪へらるゝものにあらず。世を厭ひて山林に幽居する者も實際一人では暮しきれず、兎角世間の味が忘れられず、人が戀しくなりて、時には里に出てゝ氣を晴らし、隨筆などに愚痴をこぼすが常なり、子供がいたづらをして、藏に入れらるゝや、ちれてすねて、飯を食べに呼ばるゝとも、頑然この內に籠居して、困らしくれんと始めの決心はすさまじきも、二三時間もたてば、一人が寂しく、向ふから聲をかけても應ぜずと力味居たる者が、此方より聲をかけて、一刻も早く出て、友と共に遊ばんことを願ふは、これ子供の情にして又人の情なり。即ち人は其大人たると子供たるとを問はず群居的、言換ふれば社會的生活を好むものといふべし、然れど社會的生活とは、人間が栗石の如く雜然としてたゞ集合するの謂にあらずして人々協力同心互に相助け相補うて生活するをいふなり。人生の幸福社會の進步は、一として此互助協同に依らざるはなく、文明の度合は即ちそれの好く行はれて居るの度合なり。されば世の進むに從ひて、其必要は益認められ、群居的動物の特色また愈發揮せらる。昔は戰爭に於て一騎驅けの功名を許せり、今の戰爭は團隊の戰爭にして、其步調運動の整へる方が勝なり。昔は天秤棒一つにて商賣も出來たり、然も到底今日の會社トラストの向ふは張れず、昔は一國として强きを誇るを得たりき、しかも今日の一國は到底同盟せる數ケ國の敵にあらず、一人づゝを數へたる昔の寺子屋は如何に氣張るも、今日の學校程の働きは出來ず、一軒の店が提燈や旗を飾りて大賣出しをするよりも、一町擧りて賑かせば、人の出方が違ふなり、斯る工合に今日は大勢寄つて一緒になつて働くほど、大きな仕事が出來、利益も大なる譯なり。樹木も一本立ちにては、日陰を作りて人を休ます位が稍々なれども、これが叢生して森林を形作れば、雲を起し、雨を降らし、河を流し、田畠を濕して、種々の大仕事をなすに非ずや。無心の樹木尙然り、況んや人に於てをや、團結の力は之を形作る分子の力の總計よりも大なるが常なり。されば孤立するものは、團結するものに壓倒されて殲滅するを免れず。個人然り、社會然り國家然り、共同團結は近世文明の特色なり、世界の大勢なり。この大勢に嚮するものは榮え、これに逆ふものは衰ふ、分り切つたる事なれども、其れの十分納得され實行さるゝに至れるは近來の事なり。

近時我國活動の各方面に於て、共同團結の傾向あるは最も慶賀すべきことなり。然れども日本の團結は男子に盛んにして、女子は不相變の家居にて、家庭の城廓以外には、世間の大海遊泳自由活動無限なるものあるを知らざりしが、遠くは日淸戰爭、近くは日露戰爭の起るありて婦人をして、家庭以外にも、國家社會のために盡すべき天職あることを自覺せしめ、各種の婦人團體到る處に勃興して、婦人の目覺しき活動を見るもの擧げて數ふべからず誠に今日の日本に耻しからぬ働き振りといふべし。就中其最も著しきものを我が愛國婦人會となす。日露戰爭が我が國未曾有の大戰爭なるが如く、愛國婦人會は我が國未曾有の婦人の大團體なり、婦人會は日露戰爭の大規模に耻ちざる大規模の婦人の活動なり。日露戰爭が正面より國威を世界に發揚せると同時に、愛國婦人會は裏面より我が文明—我が國婦人の道義心の如何に發達せるかを世界に示しつゝあるものにあらずや。一方日本男子の强き所を顯すと共に、一方日本女子のやさしき所を示す、是に於て情趣具に到りて、妙言ふべからず、否日露戰爭ある愛國婦人會なかるべからず、日露戰爭の活動は止む時あらん、然れども愛國婦人會の活動は止むべからず、會は戰時には戰時の務あり。平時には平時の務あり。即ちたゞ今日一時の隆盛に醉うて、他日の大責務に思ひ到らざるが如き者は會員中一人もこれなかるべきを信ずるものなり。愛國婦人會は日本婦人、道義心の結晶なり、日本婦人を最も遺憾なく代表せる精神的の團結也、軍人遺族廢兵救護なる會の主目的の實行は、物質的授受の外、如何に精神的に大なる敎訓、感動を婦人に與ふる者ぞ、即ち此會への入會及び會員としての盡瘁は、他人を救ふと共に、自らを救ふものなり、與ふると共に受くるものなり。天下豈高尙にして、自他の報酬大なる、これに過ぐるの婦人の活動あらんや。然れども會は今日の狀况を以て滿足する者に非ず、軍人遺族廢兵救護の爲には盡すべきこと多くして尙其十一をも果さず、又會員の精神的切瑳向上心の發揮に就いても、尙希求すべきこと大なるものあるなり、會員たるもの十分の覺悟を以て、國家及び世の囑望に副ひ、其所信の實行に努めざるべけんや。而して其能く大をなす所以のものは、一致團結にあり、大規模の一致團結にあり、即ち全國成年婦人が悉く會員となりて、眞に擧國一致を以て、會の事業を翼けするに於て、其效果は最も大なるべきなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎米國婦人生活の狀況

東京美術學校長　正木直彥

◎女子だからとて出來ぬ事はない世界中で最も女子教育の盛んなるは米國でありますが米國の婦人は「女子だから出來ぬ」と云ふの考へは決して持つて居りません男子のする事は女子でも出來ると云ふ考へよりして女子が盛んに男子のする事を行うて居ります其事の可否は兎に角「女子だから」と云うて自ら卑下するが如き觀念のないのは感服てす

◎男女同數の高等教育　何れの國でも普通教育は男女同數でありますが一歩進んで高等教育になると女子の數が男子より少い然るに米國では如何なる高等の學校へても女子が入學するの自由を與へてあるのみならず大學でも男女同數位の修學者がありますシカゴ大學などは女子の數が男子より多い程であります

◎美術の教育　美術の教育は殊に男子より女子の方が多い其卒業者は如何なるものになるかと云ふに決して專門家となる譯でない修めたる美術を以て自己の職業として獨立すると云ふのでもない其多くは結婚して良妻賢母となるのである故に是等の人が社會に交り社會全體の空氣を美化して往くのである美術教育の結果夫を化し子供を仕立て四周のものを自己の力で感化するので是等の婦人は眞に偉大なる勢力を以て米國の國家を美化しつゝある次第である

◎家政研究會の出品物　米國の大學卒業生の中で組合が設けられて家政研究會と云ふものがある此會から博覽會へ出品したものがあるとの事で定めて高尚なるものであらうと思うて見に往つたら極めてやさしいもので「家政を治めるには多くの金を使用するを以て滿足すべきに非ず單純にして質素に而も美的にせねばならぬ」と記入せられたる文字の下に列べてあるものを見れば見覺えある日本の臺所道具一切を集めて使用方法幷に代價まで示されてあつた尙其說明には日本の婦人が美にして質素に家の經濟を立てゝ居る事を稱贊し美的觀念ある日本婦人の用ゐるものは僅のものでも如斯形のよい色のよい氣取らないものであるとの旨を印刷物として來觀者に配つて居つた

◎美術の好みが低くなつた　臺所道具等は茶道等の如き美術的教育から根源して居つて日本の家庭にふさはしいものが出來て居る昔の人は中々美的教育が屆いたもので色の好みは日本人には天成の能があると云ふ程である然るに今は流行を唯これ追うて人がすれば自分もすると云ふので自分に適合すべき色合の好みがない異つた顏に髮の結ひ方を同一にし年齡も異なつて居るに同じ色の袴をはいたりして餘程美術に對する眼識の低くなつて居る社會の眼が低い間はよき工人は出ないもので一國の美術は發達しませぬから美術的の教育を怠つてはなりません

十分談片

◎奥村刀自　今度は皇后陛下の行啓を本會に辱う致し拜謁を許されまして私は手の舞ひ足の踏む所を知らず喜び極まつて只管感泣の外ありません總會の當日は本會の主旨により諸事質素に營まれ加ふるに多數の來會者で往き屆かぬ點もありましたらうが陛下の行啓と云ふ一大光榮の輝きの下に御耐忍を願ひたいと思ひます私共も聖德の厚きに深く感じて益々發奮精勵し命の續かんかぎり盡力致す積りでありますさいはひに病氣も大分よくなりましたからして愈々戰地に渡り戰場を視察し尙日本婦人の名代として戰地の諸所に詣で其忠魂を弔ひ尙進んでは滿洲並に朝鮮を遊說し會員を募集して歸る覺悟であります尙私は今年六十一になりますので諸方から祝うて貰ひましたが其御金で鄕里の出征者遺家族の子供に讀本を贈つて送りました時節柄喜び事や祝ひ事のあつた節は其費用を吝んだり食つたりせずと少しても公共の事に投ぜられん事を希望します

◎評議員廣岡淺子　私は日本の婦人はれを男子と比較したならば餘程智識が欠乏して居ると思ひます早い話しが日本に於ける各種の婦人會に於ても男子の後援が無くて出來て居る會は無く立派に婦人だけの力で以て成立して居ると云ふ事は出來ないかと思ひます會の會計でも簿記を差し示されたる處で簿記の點見を爲してこれを監査するの能力を供へたる婦人は殆んどありますまい但し物には多少の例外もありますから千万人の中には何をさしても出來ると云ふ婦人が一人や二人はありましようがそれを以て一般を評する事は出來ません其多くは憲法政治の許に立ちながら憲法の何たる事を了解せず政事の外交の事經濟の事等社會の最も重用なる事について殆んど何等の思想も觀念も無く人に話しかけられても答ふる事が出來ず夫の侶伴として共に語る事さへも出來ぬ婦人が多くありますこれは畢竟女子の教育が足らぬ結果でありますが今や幸に日本は戰へば必ず勝ち攻れば必ず取ると云ふ有樣てあります若しも全國の男子が皆兵となッて外征に從事すると云ふの曉には婦人だけてよく内を守る事が出來ましやうかとても守る事は出來ますまい斯る場合には假令商店も皆其店を閉して仕舞はねばなりますまい斯樣な風に國民の半數は存在者たる女子が無教育で智識が無かつたならば國家の圓滿な發達は期する事は出來ますまい故に私は何處までも女子の教育を進める事を主張するのであります而し女子の教育と申しても只表面的に物知り顏をする婦人を作る事を申すのではありません何事も實地的に行ひ得る能力を有する婦人即ち言葉を替へて申せば役に立つ婦人を作るが必要と思ひます故に私は今日の婦人を決してえらいとは申さない而し教育を施せば或る程度までは進歩し男子の侶伴ともなり片腕とも賴む事が出來る事と思ひますから男子もなるべくこれを引張り上げて指導の任を執られたならば獨り婦人の幸福のみならず男子も又非常なる幸福を享ける事が出來ると思ひます

◎男爵菊池大麓氏　近來女子教育を論ずる者が或は英國風が善いとか又は米國風がよいとか云うて外國の風を模擬する事を力めるやうであるが元來外國と比較して教育の主義方針を論ずる事は間違つて居るのである凡そ一國には其國特有の國是があると等しく教育にも其國に適應したる主義があるものである英國は英國として今日の教育が適當である米國は米國として今日の如き教育が必要である日本の教育と米國の教育と比較して何れが善し惡しと云ふ事は比較すべき問題でない恰も牛一疋と金三圓と何れが貴いものであるかと云ふに等しく牛は牛としての價値があり金は金としての價値があるので其甲乙長短は比較にならぬと同じやうなものである故に英國の教育が善いからと云うて直ちに之を日本に移す事は出來ないのである日本には日本固有の美風がある此美風を根據として教育の主義方針を定め二千有餘年來祖先より受け繼ぎたる血を清め且つ溫め愈々此美風を發揮せしむる事を私は希望するのである

◎齒科　名倉敬衛氏　男と女と何れが齒をいためるかと申すに女の方が多くあります其故は女は懷妊中などは最も多く齒に變化を來たすからであります只不思議なる事は療治の際手術の痛みを耐忍する力は男子よりは女子の方であります又上流社會の人と下流社會の人と比べたら上流社會の人の方が齒をよく痛ます元來齒は胃の門戶でありますから最も大切な處でありますが眼を大切にする程に齒は大切にしませぬ胃を大切にする事は思ひますが齒を大切にする心懸がありません特に少年時代に齒の入り變る時などは母たるものが最も注意せねばならぬのでありますに日本の婦は餘程無頓着であります然し今日では胃腸病の專門家の方から齒の大切なる事を教へられて漸くに悟り數年前までは齒を手入をするのは身體の飾りの一部と見なされて居りましたが今日では餘程必要なことゝ感じられる方が多くなつたのは衛生上の一進歩であります

◎電話工夫取締　飯田久兵衛氏　私は元の工部省時代からの引つゞきもので電信電話の職にある事三十四年遞信省部内では親父親父と申されるやうになつて居りまして今日では工夫取締になつて居りますが私が實驗した事の内で電氣の危險を申し上げますと先日も一人の工夫が電線に吸ひつかれまして三丈もある高さの處で兩足をぶらつかして鑑のやうにさがつて居りました人々もあれよ〳〵と申しても助けやうがありません若し切つて落せば三丈もある處でありますからとても助かりませんそこで一人氣のきいた工夫がありまして綱を腰にして電柱を上り其綱を被助者の身に卷き付けて電線の左右を切斷して無事に助けましたが元來電氣に心懸けのない人は電氣に觸れた人を救ふと云ふ事は危險でありまして自ら共に電氣に觸れる事が往々ありますが此間も小僧を助けやうとして引つかれ黑こげになりをつた工夫もありましたよくある事ですが電線が往來などにぶらつと下がつて居りましても決して之にさはつてはなりませんもしさはればすぐ命はありません

◎向島の渡守　仇屋清兵衛氏　私は維新の前より花見客の爲に遊船を出す營業をして居るのでありますが私の時に感じます事は人の遊び方の變遷であります昔の遊び方と今の遊び方とは丸で違ひます昔は表面の遊びでありましたが今は内部の遊びであります昔は外て遊びましたが今は穴の内で遊びます昔は天下晴れての遊び方でありましたが今は狐鼠〳〵て遊びます昔のやう衆と共に遊ぶとが必要と思ひます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小說

梅の客

堀内新泉

「はあ、私の隱宅も今が梅の盛でございますよ」「何うもお見事なことで」主人の老爺は雪の如き白髯を扱ぎ、奥州訛の鼻音で靜に「こゝまあ十四五年間、梅の古木があると聞けば、丹誠して集めましたが、世は何んでも僅づゝの功が積つて大きく成るもので、モウ彼此五百株近くに成りましたよ」一時には急がずに、何んでも僅づゝの功を撓まず積んで行くと云ふのがこの老人の主義である。年の頃三十五六の、打見た所、太く憔悴れて居る客は、その少い髯を拈つて「はアい」老人は早松風の音を立て、來た、邁形の鐵瓶の蓋を、痩せた指頭に布巾を捲いて拭きながら、相變らずの鼻音で、今日はまあ善く御訪ね下さつた。暫くお便りが無いので、實は何う成すつたかと思つて、お案じ申して居りましたよ」「何うも誠に御不沙汰を。エ、私も實はその後失敗つゞきて、今日の所では、はや最う何うして宜いやら、失望又失望、それやこれやて、つい御不沙汰勝に成りまして」老人は手づから香氣鼻を撲つ一煎の茶をすゝめ「ハ、、また例によつて苦言を呈しますが、この有望な世の中に生まれて來て、男が失望するやうなことでは、我が國家に對しても、誠に相濟まぬ次第でございますな」下らぬ理窟を云ふ老爺だと云ふやうに、客は老人の威嚴備はる面を見て、「イヤ、敢て、自ら失望する譯でもございませんが」「イヤ、それは違ふ、自ら失望成さらんで、天下何人が、貴方に失望をさせました？」「つまり、社會が」「ハ、、、下らん理窟を謂はれる人だ？貴下自身が失望せずに、何んで社會が貴下に失望させるものですか。成程そんな筋の通らぬ心がけては、この有望な世の中に生れながら、我れから求めて失望成さるのも無理は無い。男にしろ、女にしろ、我が身にばかり道理を附ける人に、事の出來る人は無い、成程男子は或る場合には、自分は勝いものだと云ふ、確たる自信と實行とが無くてはいかん、併し常平生は、我れ我れを鞭韃して、まだ足らぬ、まだ足らぬて、自憤實行して死ぬまで止まぬ人で無ければ、到底物には成れぬもの！國家にしてもその通り、早い話が、今日の我が日本帝國は如何です、目に餘る大國を敵に取り、國民擧つて、必ず勝つの自信あり、準備あり、實行あり、勇氣あり、即ち全國民の元氣がこゝに充分充實して居るので、攻むれば必ず取り、戰へばまた必ず勝つのではございませんか。斯くの如き金鐵の如き國家に、決して失望などはあるもので無い。今が働き盛りの年齡に居らッしゃる田邊さん、篤と御一考を願ひませう！」客はヂリ〳〵と眉を寄せ、翻然大悟する所あり「はい！有りがたうございます」

淸風一陣、香氣馥郁、實に見事な梅林をこの老人は仕立てたものだ（終）

◎閨智三母

須藤求馬

◉幸田彥右衛門の母は、織田信孝の乳母たりしが、信孝その乳母を以て豐臣秀吉に人質とせしに、秀吉は信孝の降らざるを以て、遂に乳母を磔にせり、其際乳母其子彥右衛門に書を遺りていへるは、親が子に先つは固より當然の事なり、汝は此母が死を以て心をば傷めてくるゝな、母の願は、唯々忠を事ふる君に盡す事のみと申し遺はしたり、彥右衛門は、母の言に激勵し、果して君の難に殉ぜり。

◉石川重之の母　大阪夏の陣に、重之德川家康に從うて京都に至り疫を病みたりしに、其母江戸より書を遺りていへるは、汝よ、汝が家は世々國恩を蒙れり、若し萬一にも此度の軍に功なきときは、何の面目ありて再び此母に面を會すると申遣はせしに、重之は、疾方に篤かりしかば、其書を人に讀ませて之を聽き涕を流せり、五月五日家康イザ二條城出發となりしかば、重之疾を力めて輿にて從行き遂に大功を顯はせり。

◉貴田孫兵衛の母　文祿の朝鮮征伐に、加藤淸正彼れの國都に赴き、孫兵衛に命じて、太閤の名護屋本陣に使せしむ、孫兵衛母あり年七十餘歲なり、使の事火急なれば、立寄りて母に一面する遑なし、從卒を馳せて安否を問はしむ、母は乃の字形に杖にすがり、從卒を門外まで見送りて告げて曰く、汝還て吾兒に謂つていへ、吾身が老たるを以て心に懸くるな、吾身の餘命は惜むに足らず、唯々兒が國難に臨みて私親を眷戀して國家の大事を失墜らん事を恐るゝと、從卒諾して之を聽き、孫兵衛に歸り報ず、孫兵衛之を聞き、大に感激し、益々奮勵して遂に英名を博せり。

◎泰西女子戰時美談

松浦政泰

◉スパルタの母が其子を戰場に送り出すとき「楯を挾んで歸るか、然らざれば載せられて歸れ」と言ひて、之を勵せしことは、能く人の知る所なるが、玆に又スパルタの母につき、一條の佳話あり。年尚若きスパルタの一青年、出陣に臨み「母よ私の劍は短くて困ります」といひしに、母は勵聲一番「一外の者より一歩前に踐み出せばよいではないか」と答へたり。

◉賢母メーリー　鐵の霰、鉛の雨、前後七ケ年に亘れる米國獨立戰爭の間ワシントンの老母メーリーは、フレデリックスバルグに住ひしが、此地は南北交通の要路に當りしをもて、戰地の風聞は善となく惡となく、逸早く此地に傳はりぬ。曰く某砲壘を陷る、曰く某將軍戰死。傳令迄來りて「我軍大勝」の喜報を齎らし擧村祝杯を擧ぐる間もなく、忽ち馳せ來る一個の輕騎は「敵兵猛進」の兇事を傳へて一同煩悶せしことも少からず。かくの如く一勝一敗、我軍の運命は石上の累卵啻ならざりし間にも、ワシントンの母は全く運を天に任し泰然として周章てず騷がず、「愛子を戰場に送りて心を痛むるは、人情の常とはいひながら、彼等は人類の權利の爲世界の自由の爲に、名譽の戰を戰へるにあらずや。其母たる者、如何でか徒に涙に咽せび無益の配慮に日を費すべきぞ」と、他の心弱き母親を慰めしこそ、健げなれ。

◉千八百七十六年の末に方り、「我軍デレウァア河を渡る」との捷報飛び來りて、希望の絶頂に飛び上るが如き心地せしや、我が黨の面々絶望の谷底より一躍して、態々母の扉を叩いて祝賀の辭を述ぶる者、引きも切らず。母も流石に欣然として打喜びしが、尙人々が諸方より來れる書翰を拔讀して、頻に將軍の功績を激賞するを聞いて「されど方々、そは餘り御世辭に過ぎずや。されどジョージは、余が曾て教へ置きしことをよも忘れじ。如何に稱揚されたればとて、自己を忘るること無けん。

◉營々汲々かく勞働に骨身を惜しまざるが上に勤勞貯蓄を心がけ、子息が出陣の留守なることとて、萬づ不足勝なる活計をも、巧に整理しつゝ、尙少許にても餘裕あれば、之を貧民に施したり。されどいぶせき埴生の小舍の內、少計の家具あれど、多くは是れ母が手製のものばかり、而も其身は胸に瘍の出來て、久しく苦しみしに。

◉老媼の出陣　佛國に年老たる女あり、合戰每に出陣して、傷つけるを勦り、病めるを慰め、勇敢にして而も溫和に、上は將校より下は兵卒に至るまで、之に敬愛を表せざるはなく、又啻に味方のみならず、敵の士官をも少しの區別を立てずして之を愛護せしかば、魯國も澳國も又普魯士も、皆名譽の十字架を贈りて、感謝の意を表したり。本國よりも何がなとて勳章などを與へんとすれども、己が主義に背くとて、固く之を拒みしを、兵士等は其儘にして棄つるを好まず、其高尙なる精神を知るが故に、終に軍務卿に向ひ、此の女の德に酬いん爲、每年二人の死刑の宣告を受けし者を放免する特權を與へられんことを請願して、其許可を受けたり。嗚呼此の特權の爲に、特赦の恩に預かりし者は、夫の老女に對して、如何なる感恩の情をや起さん。惜い哉、此老女の名を逸せり。

社告

愛國婦人會例規類集草案

愛國婦人會の法則を簡明に網羅し愛國婦人會員執務上の便利に供せんため約百頁の書を發行す

東京麴町 本部內　愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎運動の效能

ドクトル　川瀨元九郎

◉命の親　運動の效能を述べ立てたらば殆んど無限であるといふても宜いが、之を約して言へば運動は生命の基礎であるといふことになります。生命のない人體は自ら運動することが出來ないもので即ち死體と吾々は申します、言ひ換へれば運動する力を有するものは生命を有して居ります、又其生命を維持して行くには運動を十分にしなければなりませぬ、今一歩を進めて言へば吾々は只生命があるといふだけては滿足が出來ませぬ、十分に活動が出來て始めて吾々は愉快であります

◉熊の冬籠　貧血だとか、胃弱だとか腦病だとか感冒に罹り易い素因だとか其外四百四病は主として熊が冬籠りをして居るやうな生涯を送つて居るから起るのでまりあす

◉急流は水清し　運動を怠れば色々の疾病が起るのは丁度東京の市中を流れて居る川と山間を流れて居る急流とを闘べて見ればすぐ明かになるのであります、東京の川の流れは極めて鈍いからして川底に不潔なる沈澱物が一杯に積み重なつて居ります、然るに山間の流れてあつては兩側の土地からして隨分不潔なものが澤山に流れ込みますが川底に塵埃が積まないのは全く流れが急であるからであります、人體に在ても同じことで運動が不十分であると血液や淋巴液の循環が不十分であるからして、あちらにもこちらにも老廢物が堆積し、且十分の營養を人體各部が受けることが、出來ないやうになる、是に於て諸種の病氣が巢を作るのであります

◉藥品は生命を與へず　又運動は單に是等の病氣を豫防することが出來るのみならず、病氣になつても適當の運動を行へば病氣を治することが出來ます。胃弱になつたからといふて、無闇に胃活や胃散を用ひたり、貧血であるとて牛の血を啜つたり「ヘモグロビン」を飲んだりするのは少くも誤つて居るものと思ひます、藥品といふものは生命を與へる者でありませぬ、然し運動は生命の基礎であるから運動といふものは吾々が想像するよりも效能があるものであります

◉齒科醫の證明　私の交際して居る齒科醫の實驗談でありますが、自宅へ來る患者の多くは中流以上の人々であつて滋養食は日々やつて居るけれども是等の人の治療をするときには必ず含嗽水に血止藥を少量に加へて置かねば容易に出血が止まりませぬ、然るに百幾人の兵士や將校の齒を治療しましたが決して血止藥を用ゐる必要がない冷水を以て含嗽すれば直に出血が止まるといふことであります、中流以上の人々の出血よりも粗食をして居る兵卒等の出血の方が容易に且速に止まる、言ひ換へれば比較的に滋養分の少き食物を取て運動して居るもの丶血が飽食暖衣逸居して居るもの丶血よりも遙かに上等であるといふことが云へます、これは全く運動の效能であるといふても決して誤りはありませぬ、

◉滋養分より運動　滋養分を十分に食することも日光の恩澤に浴することも新鮮なる空氣を呼吸することも健康上必要であるには相違ないが中で運動は最も大切であると私は信じます、運動と申しても手や足を動かせばよろしいかと言へばさうではありませぬ、胃散が甲の人に效能があつたから乙にも丙にも必ずよいといふことは出來ない通りに運動も人々の身心の狀態によりて匕加減を要するのであります、人體を支配して居る法則があるから其法則に照らして個々の人々に適當する運動を選んで行かなければ效能が薄いのみならず、時には害をすることもありますから十分の注意が緊要です

◎如何にせば惡しき子供が出來るか

(家庭寓話)

●「やけ」を起す子を作るには子供の爲せるよき事柄にても之を褒める事をせずむやみに罵り叱り善事を奬勵せぬ樣にせよ

◉「惡しきくせ」の子を作るにはわるいこと丶知ながら今日だけはよいとかまだ頑是なき子だからとて最初を見のがす可し

◉「ねぢれた心」の子を作るには家內のものが教育の主義を一定せず一人がしつけをする時に止たてをし子をかくまふべし

◉「はうらつ」の子を作らんとするには僅なものなりとて物事を粗末にせしめあればありたけ物を消費せしむる樣仕込べし

◉「あはれみ心のない」子を作らんとするには下女下男を罵しらしめ又犬猫等小なる動物を虐待する事を一の樂の如すべし

◉「うそつき」の子を作らんとするには之は內證でと云言葉を常に用ゐ耳に口を寄せて小聲にて話しをするやうになすべし

◉「おくびやう」な子を作らんとするには泣事をやめさすためにおばけが出とて恐れさしたり鬼の話し幽靈の話しをすべし

◉「むとんぢやく」の子を作らんには自分の利益でなければ何事も進んでさせぬ樣にし命じたる事も遂行さず強ぬ樣にすべし

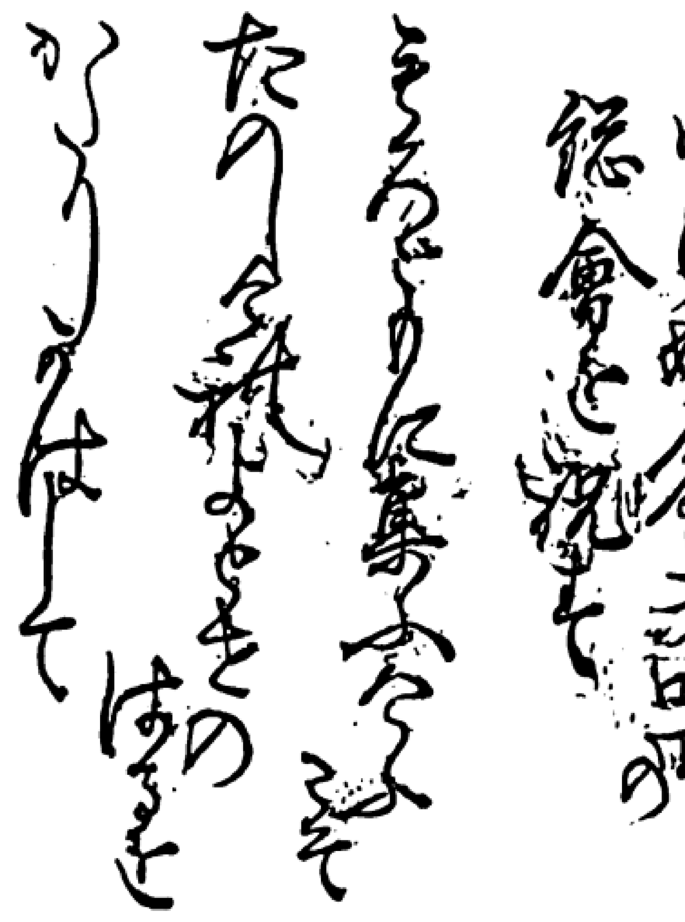
◉「ちつじよ」のない子を作らんには使用した物を舊位置に復せしむる事を爲さず抽出しを明けたならば明け放しにせしめよ

◉「づろう」の子を作らんには秘まつた時間を守らさず注意力を散漫ならしめ騒いで遊ばし物事を纏まらさゝぬ樣にす可し

◉「ゆうきのない」子を作るには一度決心した事でも常に變更を許し萬難を排しても事を遂んとするの氣象を打くぢく可し

◉「わがまゝな」子を作るには祖母がむやみに孫を可愛がり兩親が仕付んとて叱るときは孫にかはりて樣々と辯護すべし

◉「いくぢなし」の子を作るには子供の喧嘩に親が出て子の相手を散々に罵り擲るべしひきような子ができること妙なり



理事　近衛貞子筆

◎工夫せられたる臺所と浴室

(評議員有島幸子氏宅の臺所實見と同夫人の談話による)

◉廣き臺所　私は臺所は廣いがよいと云ふ考へて家に比較しては餘程廣い臺所を作りました御覽の通り三間に四間であります餘り廣いから芝居の舞臺を見たやうなとの批評も受けました火を燃く處は危險でもありますから一段低くしてセメントで固めこれに日本竈と西洋竈とを備へ付け流しを二ケ處に設き清潔なものとさもないものとを區別して洗はす事にしてあり一段高い處は板を敷き詰め疊は敷きません其床の下に四季の漬物を貯藏するやうにし左右に戶棚を供へ其戶棚は配膳棚と兼用に致してあります

◉食堂との關係　食堂と臺所とは接近して居りますが其處に一つの工夫がしてあります恰も郵便局の窓口のやうに中央に押込を作り兩室を中斷し其押込は兩面から開かれ料理人は料理を其棚の上に乘せると配膳方はこれを受取つて直に食堂に供へるやうにし配膳するものが料理場まで出なくて濟み料理場のものが客の前へ出なくて濟むやうにして居ります

◉風呂場　風呂場にも一つの工夫がしてありまして奥の湯と下の湯とを區別し奥の湯の傍に上り湯が涌くやうにして一處を燃やせば兩方が湧き奥の湯を使ふた後これを捨てないで栓を拔けば其湯が直に下の湯に流れるやうにして湯を二重に利用し主人が歸らねば皆のものが這入れぬやうな事が無いやうに一人でも二人でも便宜の時間に這入つた時は直ちにこれを拔き下の湯に移し奥の湯には更に上り湯の方の栓を拔いて出すやうにしてあります

◉下女部屋の工夫　下女が多く居りますと自分の所有物が他人の所有物の中に這入つたり又は紛失したり色々なる所有權の爭ひを開く事がありますから一工夫をめぐらし風呂屋の戶棚のやうに衣服を入れる戶棚を銘々に作つて錠を與へて置き自分の所有物は其戶棚に錠を下ろして入れさし若し其上て失ふたならば下婢等は身の責任であると云ふ事にして所有權の確保をしてをります

◎泰西婦女訓

◉順序よく事を爲すは箱に物を詰めるに等しく次第よく入るれば多く詰め込むを得

◉多くの事を早く爲す近途は他なし即時に一事を爲すことによつて遂せらるゝ也

◉若し其事の成功を望めば自ら往いて爲すべし其不成功を望めば他人に依賴すべし

◉座せる主婦よりは立てる下婢の方丈高しとは働かぬよりは働くが神聖也と云ふ也

◉家務は恰も行軍の如し前隊阻止せば後陣亂る始の事務を捌かざれば後累生ず

◉下女が不平を言ふの時は必ず暇なる時に限る業務なき時は釜を磨げと命ずべし

◉細務を處理するの能力なくば男子は三軍の將となり難く女子は良妻となり難し

◉不正當なる働きによつて得たる財產は恰も風船玉の如し十分膨脹せば忽ち破る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎愛國婦人會第四回總會彙報

◎皇后陛下行啓　本會第四回通常總會は豫報の如く去二日午後九段坂上階行社に於て擧行せられたり前夜まで篠つく雨降りしきりければ此模樣にては翌日の天氣如何と人々氣をもみ居りしが當日の午前八時頃よりして俄然雨に降り止み次第に霽れ渡り式擧行前後は日本晴の好天氣となれり日本空前なる幸ちある光榮を荷へる此大集會に此上尚幸ちあれかしと天帝も加護をや加へられけん此日斗りは「北の風雨」との天氣豫報さへ差違を生じたることそ目出度き次第なり

皇后陛下には豫て仰出されたる如く午後一時宮城御出門高倉典侍御陪乘香川皇后大夫、山内宮内書記官、六角權掌侍、西命婦等供奉せられ最初官報に公布せられたる御道筋は代官町新道を經て九段坂上より式場に行啓の御豫定なりしが俄かに御模樣替となり竹橋より特に本會の前を九段坂下より式場へ行啓あらせられ午後一時を合圖に警固の騎馬蹄の音高く皇后旗は春風に飜り鳳車堂々玉顏いと麗かに午後一時二十分會場に行啓あらせられたれば　總裁閑院宮妃殿下名譽會員東伏見宮、梨本宮、久邇宮の各妃殿下を始め奉り一同御車寄に奉迎し便殿にて御休憩の際會長岩倉公爵夫人始め理事監事の役員一同又地方支部長及幹事へは御下通の際に拜謁仰付けられたり

◎式場設備　階行社の階上階下には紅白純子の幔幕を張り續らし玉座は庭園の正面なる階段上に青色の敷物を敷き其上には紫の紐にて幔幕を絞り上げ御後に金屛風を立て廻らし金襴子地の御椅子を置かれ其左右の樓上左翼は各宮殿下理事監事席となし其右翼は大臣席及本會顧問の席となし階段の下に卓子を設け其左翼は支部長評議員席とし其右翼は幹事席とし其正面には有功章受領者席となし來賓及び有功者席は評議員席の後部に設け會員席は式場の正面一杯とし上部を地方會員の爲に設け下部を東京會員席と定めたり式の始まる前より數萬の會員は潮の湧くが如く入り來り會場は立錐の餘地なし

●皇后陛下式場出御　第二鈴にて君が代吹奏に連れ皇后陛下には玉容麗はしく會長岩倉公爵夫人の御先導にて式場に臨御あらせられ香川皇后太夫御傍に侍立し一同最敬禮の後會長岩倉公爵夫人は御前の階段數段を降り開會の辭を朗讀す

開會の辭

今日玆に愛國婦人會の第四回總會を開くに當り本會は軍人の遺族及び癈兵を救護するを以て目的とすれば苟も我國に生れたらん人は男となく女となく間接に直接に同心協力この國家的慈善事業に盡すべきなり況して一旦緩急あり義勇公に奉ずべきの時に於てをや我國民の大御母と仰がれ玉へる皇后陛下には夙にかゝる事業を御嘉納遊ばさせ玉ひて今此席にさへ臨ませ玉ふ全國の會員はさらなり遠く塞外に在りて砲煙彈雨の中を驅けめぐる勇將猛卒も之を聞かば其感激やいかならん時局の前途は尚遼遠にして本會事業の擴張は彌急なりいでや此總會に集まれる婦人諸氏は今よりは愈々會務を振作し本會の主旨を貫徹することを努め以て山よりもいや高く海よりもいや深き大御心に報ひ奉らではあるべき久子謹しみて聊か所思を述べ開會の辭とす

明治三十八年四月二日

愛國婦人會長　公爵夫人岩倉久子

皇后陛下には御聲爽かに左の優渥なる御令旨を下し賜ふ

皇后陛下御令旨

本日愛國婦人會の總會に臨み玆に各員を見るを喜ぶ殊に今回の事局に際し本會が能く救護の實を擧げつゝあるは滿足の至りなり尚ほ將來事業の益す盛ならむことを望む

總裁閑院宮妃殿下には御前に進ませられ右の御令旨に對し左の奉答文を御朗讀あらせらる

總裁殿下奉答文

今や愛國婦人會は畏くも　皇后陛下の親臨を辱うして愛に第四回總會の式を擧ぐるを得且特に優渥なる　令旨を賜はりたるは本會無上の光榮にして全國の會員は勿論軍人遺族及び幾多廢兵は當に恩旨の厚きに感泣すべし　抑々本會は創立日尚淺しと雖も曩日　兩陛下並に　皇太子同妃兩殿下の特別なる御補助を蒙り一般の婦人も亦深く感發する所ありて陸續本會の主旨を賛同し加盟するもの絕えず現に會員は三十有六萬の多きに達せりされど今回の戰役は規模極めて宏大にして其狀況又悲慘を極め我至仁至慈なる　皇后陛下の特に軫念を疚ましめ給ふ所なり本會員たるもの克く時局に鑑み益す奮つて同心協力事業の擴張を謀り　陛下の懿旨に副ひ奉らん事を期すべし

肅みて奉答す

明治三十八年四月二日

愛國婦人會總裁

載仁親王妃智惠子

◎會務報告　次に事務長子爵松平直敬氏は左の會務報告を爲せり

○明治三十七年愛國婦人會々務報告

一御諭旨　總裁殿下より一月廿一日時局に鑑み會員一同協力して本會主旨の貫徹事業の擴張を謀るへし云々との御諭旨を賜はる

二會員勸誘　總裁殿下の御諭旨に基き會長理事より一般職員に對しては奮て會務に努力すべく通牒を發し又會員資格を以て全國姉妹に對しては時局に鑑み上は　聖慮に報ひ下は出征軍人にして後顧の憂ひなからしめんが爲め本會に協力し神州女子の職分を盡さんことを希望する旨云々の激文を發表せり

三軍人に向つての檄文　會長理事より軍人諸君に告くと云ふ檄文を發し出征軍人に配布す其意は軍人の本分を盡され國威の宣揚を祈らん事を願ふ我邦女子と雖も各期する處ありて戰死者遺族及癈兵を救護せんとす云々の印刷物を配布す軍人之を見て大に感激の情あり

四遊說員派遣　主唱者奧村五百子及遊說員野中富(?)二名をして青森岩手福島山形岡山愛知三重愛媛石川長崎各支部を巡回し各地に於て遊說し何れも好結果を得たり

五名譽會員推戴　名譽會員に御推戴申せし各宮妃殿下東伏見宮、山階宮、賀陽宮、久邇宮、梨本宮、伏見若宮、各妃殿下

六會員增加　明治三十六年末日會員數は三万二千二十余人なりしが現在は三十六万余人外に贊助員二万八千余人となれり是竟兩陛下並に各妃殿下の恩賜金ありたると時局に感激したる等の結果なり

七恩賜金　二月廿九日付を以て恩賜金下賜の光榮を蒙へり

　金七千圓　宮内省
　金五千圓　皇后宮
　金二千五百圓　東宮同妃殿下

外に各名譽會員の方々より御寄付金を賜はり會員一同大に感佩す

八基本金現在高　前年度末に在りては基本金二万千余圓なりしも逐次增加して現在基本金十六万余圓となれり會費即救護金となるもの二十餘萬圓餘なり

九救護金贈與

一、軍人遺族及癈兵困窮者へ定期救護金を贈與せし人員千七百三十二人にして此金額五千四百四十四圓なり

二、日露戰爭の爲め戰傷死者遺族へ臨時救護金を贈與せし人員四千四十餘人にして此の金一万二千余圓なり

此の人員は是より尚增加の筈なるも各支部より未た報告し來らざるによる

三、日露戰役に關する定期救護金支出は多大なるも現時取調中に付き省く

十御慰問使派遣　總裁殿下の台命に依り出征各師團及鎭守府司令部に會長理事評議員支部長を以て御慰問使として派遣す

十一出征軍隊並に傷病軍人送迎　各支部の役員及會員は出征軍隊及傷病軍人を各停車場又は各港に送迎し隨時物品を寄贈せり

十二恤兵品寄附　本會及會員有志より募集し陸海軍恤兵部へ寄附せし物品は機關新聞たる愛國婦人數万部繪はがき百二十五万枚なり

十三傷病軍人慰問　本支部職員並に會員は各地陸軍豫備病院を慰問し金品を寄贈せり

十四戰死者吊慰弁に會葬　戰死者には職員を派遣して吊詞を述べ遺族及び戰傷者を吊慰せしむ又是等の人々の葬儀には本部若くは支部職員をして會葬せしむ

十五本部移轉式　麴町區飯田町一丁目牛ケ淵公園內元日本體育會建物を購入し九月廿八日移轉式を擧行せり當日は特に　總裁殿下幷に名譽會員各殿下御台臨あらせらる

十六裁縫部設立　東京支部其他二三支部に於ては從軍被服廠より裁縫を請負ひ出征軍人遺族並に家族をして就業料を得せしめ又役員并に有志者は慈善競技料の純益金を傷兵又は其家族救恤に充當せり

十七諸規則改正　本會を社團法人と爲さんが爲め定款を編成し本部規則支部通則評議員會々則を改正したり又會費規準法を定めて各支部に女子人口百人に對する會員の一人を標準數とす又救護金の制限法を定め最大限を三十圓とす

十八海外委員部設置　海外會員の爲めに委員部を設置し各領事夫人をして委員長とせり即ち米國シヤトル、桑港布哇韓國木浦馬山浦平壤等なり

十九囑託員派遣　子爵鳥居忠文氏を清韓國に派遣し會員及寄付金を募集す其成績成者多數にして金額一万五千圓を得たり

二十外國人寄附金　韓國皇太子妃殿下より金三千圓同陛下貴妃より金二千圓又英國赤十字社より一万五十(?)香港英國人より一萬數千圓其他各國從軍武官及び各國新聞社等よりして本會の主旨を賛同し寄附金を送附爲せしもの究めて多し

◎會計決算報告　次に同事務長は左の如き會計決算報告を爲せり

明治三十七年度會計決算報告

收入之部

一金參拾參萬五千拾九圓五拾七錢四厘　總收入高

內譯

金拾六萬百六拾參圓參拾錢七厘　會費

內

金拾參萬九千四百四拾貳圓貳錢七厘　各支部納金
金貳萬四百拾七圓貳拾八錢　海內外ヨリ本部へ直納
金參百四圓　家屋貸入代ノ內ヨリ用途指定寄附ヨリ組替

金拾貳萬四千百六拾六圓七拾八錢壹厘　基本金

內

金壹萬參千百七拾貳圓九拾貳錢六厘　各支部ヨリ寄附納金
金九萬五千五百七拾參圓參拾貳錢貳厘　恩賜金並ニ海內外ヨリ本部へ寄附金
金貳萬五千四百貳拾圓五拾參錢參厘　大阪外十四支部ヨリ規準外會費納金

金六百九拾七圓八拾九錢　用途指定寄附金

內

金參百參拾五圓　本部移轉式費寄附
金參百六拾貳圓八拾九錢　金州丸遭難者救護金

金貳千六百拾七圓七拾貳錢四厘　雜收入

內

金貳千六百五圓九拾六錢　預金及公債利子
金拾壹圓七拾六錢四厘　徽章再渡代其他雜入

金四萬七千參百七拾參圓八拾七錢貳厘　前年度より繰越金

內

金貳萬五千四百七拾四圓五錢　會費及雜收入ヨリ
金貳萬千五百九拾五圓參拾錢　基本金トシテ本部ニ保管
金參百四圓　用途指定寄附金

支出之部

一金六萬貳千九百九拾貳圓九拾六錢　總支出高

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

内譯（前號のつゞき）

經常費　金四千八拾貳圓九拾四錢六厘

内

金貳千五百六拾六圓四拾九錢貳厘　給料及手當賞與トモ
金四百六拾六圓貳拾九錢　借家及借地料
金百貳拾圓　廣告料
金百六拾六圓四拾壹錢九厘　紙筆墨料
金貳百四拾六圓六拾四錢　郵便電信料
金五拾九圓六拾八錢　器具代
金參百貳圓九錢　車費
金百五圓五厘　雜費
金四拾九圓九拾七錢　辨當料

臨時費　金五萬八千貳百八拾壹圓四拾九錢四厘

内

金五千六百貳拾壹圓五拾錢　臨時救護金
本項は三十七年中戰死者遺族の窮困者に臨時救護の分

金五千五百四拾四圓　定期救護金
本項は三十七年度救護として卅八年三月東京外三十六支部下軍人遺族窮困者へ贈與の分内金參百六拾參圓は東京外四支部下へ三十六年度追加救護として三十七年四月中支出の分を含む但本項には三十七年日露事件の分は目下調査中に付省く

金七千參拾七圓七拾五錢九厘　印刷費（協約狀及規則書等）
金參萬參百四拾六圓六拾八錢　徽章製作費
金千六百七拾六圓四錢四厘　運送費
金六千九百四拾九圓五拾壹錢四厘　擴張費
本項中ニ鳥居子爵布哇出張中旅費其他支辨ノ爲メ贈呈シタル金參千五百圓ヲ含ム
金貳百八拾貳圓五拾錢　諸手當
本項ハ奥村五百子氏在郷療養中ノ手當並ニ中村事務員退職ノ際贈與セシ手當等
金百拾四圓四拾五錢四厘　營繕費
金貳百九圓四錢參厘　總會費
本項ハ三十七年二月總會費中寄附金及前年ヨリノ繰越高ヲ差引タル差額ナリ

金六百貳拾八圓九拾貳錢　用途指定支出

内

金參百四圓　家屋買入費ニ充ツル爲メ會費ニ組替
金百四拾貳圓七拾九錢　移轉式費支出
金百八拾貳圓拾參錢　前同寄附ノ内ヨリ職員及雜新聞費

外ニ
金ヶ千四百六拾圓ハ本部家屋買入代及金五百四拾八圓四拾壹錢ハ備付品買入代ハ各資産トシテ現存スルヲ以テ支出高ニ併算セズ

明治三十七年度收支總計算

一金參拾參萬五千拾九圓五拾七錢四厘　三十七年度總收入高
一金六萬貳千九百九拾貳圓九拾六錢　同　總支出高
差引金貳拾七萬貳千貳拾六圓六拾壹錢四厘　卅八年度へ繰越高

内

金拾四萬五千七百六拾貳圓八錢壹厘　基本金
金參百七拾貳圓九拾七錢　用途指定寄附金
金拾貳萬五千八百九拾壹圓五十六錢參厘　會費雜收入ヨリ支出金ヲ控除シタル殘

右之通リ候也

愛國婦人會
會長　公爵夫人　岩倉久子
理事　公爵夫人　德川泰子
同　前公爵夫人　近衛貞子
同　公爵夫人　島津田鶴子
同　前公爵夫人　毛利安子
同　侯爵夫人　大山拾松
同　侯爵夫人　鍋島榮子
同　侯爵夫人　山内禎子
同　子爵夫人　谷玖滿子

右監査ヲ遂ケ相違ナキコトヲ證ス

監事　公爵世嗣夫人　九條惠子
同　男爵夫人　三井苞子

◉定款議事　夫れよりして松平事務長は議事を開く旨を宣言し愛國婦人會定款議案第一條より第二十七條を以て議題となし會員の意見を求めし處萬場異議なく議案を可決せり其確定案左の如し

愛國婦人會定款

第一款　總則

第一條　本會は皇族を推戴して總裁とす
第二條　本定款は第二十五條の議決を經て總裁の認可を受け主務官廳の認可を受くるに非されは變更することを得ず
第三條　本會は法定の解散理由あるに非らされは解散せざるものとす

第二款　目的

第四條　本會は戰死者の遺族及び癈兵を救護するを目的とす救護に關する方法程度は主務官廳の認可を受け別に之を定む

第三款　名稱　位置

第五條　本會は愛國婦人會と稱す
第六條　本會は本部を東京市麹町區飯田町壹丁目字牛ヶ淵に置き支部を北海道各府縣臺灣其他必要に應じ海外居留地に置く
第七條　本部支部に關する規則は評議員會の議決を經主務官廳の認可を受け別に之を定む

第四款　資産

第八條　本會の資産は左の如し
一　帝室の恩賜金
二　本會の所有に關する動産不動産
三　會員の醵金及贊助員の納金
四　篤志者の寄附金
五　本會所有の財産より生ずる特別の收入金
第九條　資産の管理及處分に關する規則は評議員會の議決を經主務大臣の許可を受けて別に之を定む

第五款　會員

第十條　本會の會員は婦人にして左の三種とす
一　名譽會員　皇族を推戴す
二　特別會員　拾ヶ年間毎年金貳圓宛納むるか又は一時金拾五圓を納むる者
三　通常會員　拾ヶ年間毎年金壹圓宛納むるか又は一時金七圓を納むる者
第十一條　右の外男女に拘はらず一時金五拾錢以上を納むる者は贊助員とす
第十二條　入會の拒絶及會員の除名は評議員會に於て議決し其理由は之を告知せず

第六款　評議員會

第十三條　評議員會は評議員百五拾名を定員とす
第十四條　評議員は總會に於て東京府下在住の特別會員中より選擧し總裁の允許を受くべし
評議員は名譽職にして任期は三ヶ年とす
但し再選するも妨げなし
補缺議員の任期は前議員の任期に依る
第十五條　評議員會は會長の召集に依り開會し重要なる事件を議決す
第十六條　評議員會の議事は出席議員の過半數を以て決し可否同數なるときは議長之を決す
第十七條　評議員會は議長の外貳拾名以上出席するに非らざれは議決をなすことを得ず

第七款　職員

第十八條　本會に左の職員を置く
會長　壹名
理事　拾名
監事　貳名
第十九條　理事は評議員會に於て評議員中より選擧し會長は理事中より監事は評議員中より理事之れを選擧す
第二十條　會長理事監事は名譽職にして總裁之を囑託す
會長理事及監事の任期は滿三ヶ年とす
但し再選するも妨げなし
補缺者の任期は前任者の任期に依る
第二十一條　會長は本會を代表し總裁の令旨を奉じ會務を總理し役員を任免し總會及評議員會の議長たるものとす
理事は會長の旨を受け會務を監理す
監事は會計の事を監査す

第八款　總會

第二十二條　本會は毎年一回通常總會を開く
但し會長に於て必要と認るときは臨時總會を召集す
第二十三條　總會の召集及會議事項の通知は特に指定したる新聞紙を以て之を爲すものとす
第二十四條　總會に於て表決を爲すは出席會員に限る
出席せざる會員は書面を以て表決を爲し又は代理者を出すことを得ず
第二十五條　總會の議事は過半數を以て決し可否同數なるときは議長之を決す

第九款　會員章

第二十六條　本會の爲め特に功績ある者及金品を寄附したるものには男女を論ぜず有功章又は謝狀を贈與す
第二十七條　特別會員通常會員には各所定の會員章を贈與し贊助員にして金七圓以上を納めたるものには贊助員章を贈與す特別會員及通常會員には協約狀を贊助員には贊助證を贈與す

◉評議員の選擧　事務長は更に本定款に依て評議員の選擧を行ふ旨を宣言せり事務長の氣付けとして選擧は會長の指命に任して如何と提案せし處萬場異議なきを以て會長は從前の評議員を其儘指命すと宣言せられたり

◉會長理事監事の選擧　新たに選擧せられたる評議員は更に理事の選擧を行ひ舊理事を其儘選擧せり理事は更に會長及監事を選擧し舊會長及監事を其儘選擧したり

◉祝電朗讀　在奉天閑院宮殿下より特に祝電を賜はりたれば相談役堀内中佐これを朗讀せり

閑院宮殿下の御祝電

本日愛國婦人會總會に皇后陛下の行啓を辱ふせらる愛國婦人會の光榮何を以てか之に加へん夫れ會員諸子上は陛下の御思召を奉戴し下は出征將卒の艱苦を思ひ尚ほ一層奮勵して本會を擴張し國家の干城をして後顧の憂なからしめんことを切望の至りに堪へず一言以て祝詞に代へ本會の隆昌を祈る

在奉天　載仁

◉式終了　右にて式終りたれば君が代の吹奏一同最敬禮の下に皇后陛下御入御あらせらる

◉樓上に出御　式場附近には僅かに二三千名の外會員整列する能はず一段下なる庭園に數万の會員來會し居り親しく玉容を拜するを得ざるを遺憾に思ひ居りし處陛下は厚き思召を以て特に樓上に出御あらせられ殘る隈なく會員の狀況をみそなはし賜ひたり會員は玉容をはるかに拜し滿腔の感喜を表せり

◉奥村刀自に拜謁を賜ふ　式終つて皇后陛下御入御の後本會主唱者奥村刀自に拜謁を仰付られ咫尺の間に於て優渥なる御詞さへ賜はり刀自は身に餘る光榮を荷ふたり

◉當日の來賓及參會者　寺内陸軍大臣、清浦農商務大臣、花房宮内次官、長岡參謀次長、島津公爵、谷子爵、松平、千家、澁澤各男爵以下其外評議員地方支部長以下數百名なり

◉來會者一萬餘人　地方支部より態々來會せる方も多く東京の會員を合して約一萬餘人は集會せりさしもに廣き九段坂も一時往來止めのすがたとなれり

◉餘興休憩所立食の饗應　東京支部には牛が淵公園内に各區〳〵の旗を建て目印となしテントを張れり地方支部の分は靖國神社競馬場の一部をあて各府縣に區別し各々テントを張り休息所となし餘興には太々神樂、陸軍音樂隊を催し休憩室には茶菓を設け來會者に供し午後五時より階行社樓上本部樓上に於て本會に功勞ある人及び有功章佩用者並に地方の職員慰勞の爲めに素質なる立食の饗應をなせり但此費用は本部の職員並に東京支部幹事の負擔なり

◉贈品物品名　當日會より來會者一同に贈與する物品は左の如し
一、紀念の扇　二、東鄕花（簪）

◉參觀の場所（是は地方より來會されたる會員に限る）新宿植物御苑、[illegible]妃殿下御庭園、小石川樂後園、靖國神社内遊就館なり

◉主事會　去四日本部樓上に於て開會せり來會者卅餘人

◉支部長招待會　今五日地方支部長及支部副長を本部樓上に招ぎ會長より慰勞會を開けり

◎愛國婦人會會員現在表　三十八年三月三十一日現在

支部名	特別	通常	合計	贊助	女子人口千人ニ付會員比例
北海道	一、五六四	五、七七〇	七、三三四	七一〇	一、四五
東京	四、五三〇	九、一二四	一三、六五四	三六三	一、二八
大阪	二、八二九	一〇、三六四	一三、一九三	一〇一七	一、五四
京都	一、八一七	一一、六二四	一三、四四一	三一七	二、六四
神奈川	一、一八〇	八、八九四	一〇、〇七四	二三〇	一、九一
兵庫	一、八七六	一八、五八〇	二〇、四五六	三九六	二、三〇
長崎	二、三〇九	八、〇八六	一〇、三九五	四八	二、一三
新潟	四五四	一、九一三	二、三六七	六五九	、二六
埼玉	二五二	三、八七六	四、一二八	三五三	、六六
群馬	二六六	一、六四三	一、九〇九	八三	、四二
千葉	八三〇	五、七四六	六、五七六	一四八	一、〇〇
茨城	三三〇	三、一一四	三、四四四	三九	、五七
栃木	一五九	一、〇八五	一、二四四	一四二	、二八
奈良	二四八	四、八七八	五、一二六	三〇一	一、八四
三重	三〇一	九、五四八	九、八四九	三三八	一、八九
愛知	一、〇七九	二一、五七一	二二、六五〇	五八一	二、六〇
靜岡	三二三	一、九九九	二、三二二	六一	、三六
山梨	二五四	一、八三二	二、〇八六	一三二	、七六
滋賀	四二七	六、五二二	六、九四九	二、七四二	一、九一
岐阜	二一四	九五〇	一、一六四	三二六	、二三
長野	三六一	二、三二〇	二、六八一	四三四	、四〇
宮城	一、一三二	九、〇九二	一〇、二二四	六六八	二、三〇
福島	九八一	七、六〇二	八、五八三	五一四	一、四七
岩手	五五五	五、〇四六	五、六〇一	二〇三	一、五三
青森	四五六	一、九八〇	二、四三六	四七	、七六
山形	六九四	一四、五五七	一五、二五一	一〇七	三、四七
秋田	三一二	二、〇一二	二、三二四	一、一五二	、五八
福井	五八四	五、〇〇五	五、五八九	九四八	一、七一
石川	一、一九二	一四、五〇二	一五、六九四	七二〇	四、〇〇
富山	六八五	九、三八六	一〇、〇七一	五七八	二、八五
鳥取	一一六	一、二一四	一、三三〇	二八四	、六一
島根	二〇九	一、七五八	一、九六七	三七一	、四四
岡山	七一五	一五、二二八	一五、九四三	三六〇	二、七六
廣島	一、一五五	八、二一〇	九、三六五	六五一	一、二六
山口	七五八	二五、五八一	二六、三三九	七四八	五、二一
和歌山	一二八	八九八	一、〇二六	三二二	、三〇
德島	一三四	一、九七二	二、一〇六	五三	、六〇
香川	四三四	三、七七八	四、二一二	三〇六	一、二二
愛媛	二五四	八、五二一	八、七七五	二三二	一、七二
高知	二一六	五、七九九	六、〇一五	五八六	一、九〇
福岡	一、五五二	八、三九八	九、九五〇	九四六	一、三〇
大分	四七三	五、一九三	五、六六六	四三一	一、三二
佐賀	四七七	二、二五〇	二、七二七	一九一	、八三
熊本	二、二〇四	一二、八二〇	一五、〇二四	二、一九四	二、四八
宮崎	一九一	三、四八七	三、六七八	二三六	一、五〇
鹿兒島	五二七	一、六一七	二、一四四	一〇一	、三六
沖繩	二一七	九〇八	一、一二五	七六	、四七
臺灣	九九四	三、〇五四	四、〇四八	五、四五九	、三〇
海外	四七〇	一、三三三	一、八〇三	九七四	
合計	三九、四二〇	三二〇、九四〇	三六〇、三六〇	二八、八三五	
備考	臺灣には臺北、臺中、臺南の三支部を設く海外に會員多數を有するは米國布哇に千二百三十七人、韓國各地に百四十八人、米國シヤトルに百九十四人其他は清英獨等に在る日本人なり				

◉會員に注意す　今回本會の會名にまぎらはしき名を以て日刊新聞を發行するもの有之も本會には少しの關係なき新聞につき名に依て誤られざるやう特に注意す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なき新聞につき名に依て誤られざるやう特に注意す

小說

◎紳士

中村春雨

東京の紳士中の紳士と呼ばれて、德行も高く、名望も世に遍く、社會から少なからぬ尊敬を拂はれてゐる富士野潔は、外出の支度と見え今しも新調の燕尾服を着け了り、姿見の鏡に向つて襟飾を直してゐる處へ、小間使が持つて來た一葉の端書に目を留めて、一寸と顏色を動かしたのである。端書には女文字の釘の折れのやうな字體で、今日は亡夫某の一周忌に當るから午后一時、菩提寺まで御出で下さりませ、何の風情もない處へ御呼立て申すのは甚だ恐れ入りますけれども御信切にいろ〳〵御世話をなすつて下すつた且那樣が御出で下されば、亡夫も何んなに喜ぶか知れませんといふ文言である。成る程然う云へば、今月今日が彼が戰死して正に一周年の紀念日である、忘れてゐたと云つては相濟まぬが、その日が今日であつたとは、つい思出さないでゐた。今でこそ身分にかけ違ひはあれ、昔は一つ小學校で六七年の長の星霜、机を列べてゐた友人の間柄である、加之、友は國家の爲に、一命を犧牲にして天晴名譽の戰死を遂げてくれた尊むべく敬ふべき義人ではないか。今後、戰勝國の餘光を身に負うて海外諸國と大貿易の戰を開くにしても、亡友の恩を記してゐなくてはならぬ、飽くまで彼等に感謝せねばならぬ、その遺族の人々からこのハガキ、之は何うしても行つて來ねばならないか。潔はかく考へ至つたが、ハタと當惑したのである、實は數日前、農商務大臣から別邸内で催さるゝ觀櫻會の案内狀に接してゐたので、今日は正にその當日、此から出掛けやうとする矢先なのである、馬車は支度を整へて玄關で待拂へてゐる、夫人は化粧室へ入つて、今着替の最中なのである。前から知れてゐたら觀櫻會の方へは斷り狀を出してゐても濟んだものを、間際に迫つてその樣な無作法な事は出來る譯のものではない、交際の禮儀に戾る、自分の信用にも關係する、假令又自分が何と云つても夫人が不承知を云ふに定つてゐる。去年の觀櫻會の時にも、會社の方に差支があつて斷り狀を出したので、大分不平を云つてたけ。加之に、此度はわざ〳〵三越へ注文して觀櫻會用の二枚襲が調製た位だもの、槍が降らうが火が降らうがこれは何うあつても拔き差しならないのだ。今日になつてハガキを寄越といふのも一體間違つた話さ、私の樣な忙しい體が然う悠長な、呑氣な考へて、何うにでもなるものと思つてるのが嘘だ、不了見だ、頓馬だ、使をやつて斷つて了ふ事にせう。と思つて、頭を返しかけたが、直と又、頭がいろんに紛雜つて來る。觀櫻會が何んだ、藝妓とシャンペンと、綺羅びやかなる衣物の行列と、金鎖やダイヤモンドの指環や、ハイカラーの競進會、唯塔もなく笑ひ興じ合つて、時間を潰ぶすまでの事、考へて見るとつまらない、矢つ張り友人の遺族の者を慰めてやつた方が何れだけ功德だか知れないのだ：：：然うだ、觀櫻會の方へは斷りを云つてやつて友人の墓へ參つて來る事にせう。然うだ、それが紳士たるものゝ行ひであらうと、漸く心を決めたらしく、頷きつゝも猶茫然佇つてゐたが、丁度後の扉が明いて、闥者の薰ゆかしく、姿を現したのは夫人雪子である。「良君、參りませうではございませんか？」「私は行くまい」と乾張云つた。「エ：：：」とばかり、驚きの眼を睜つたが、「串談仰しやつてはいけませんぢやありませんか、もう時刻でございますから。」

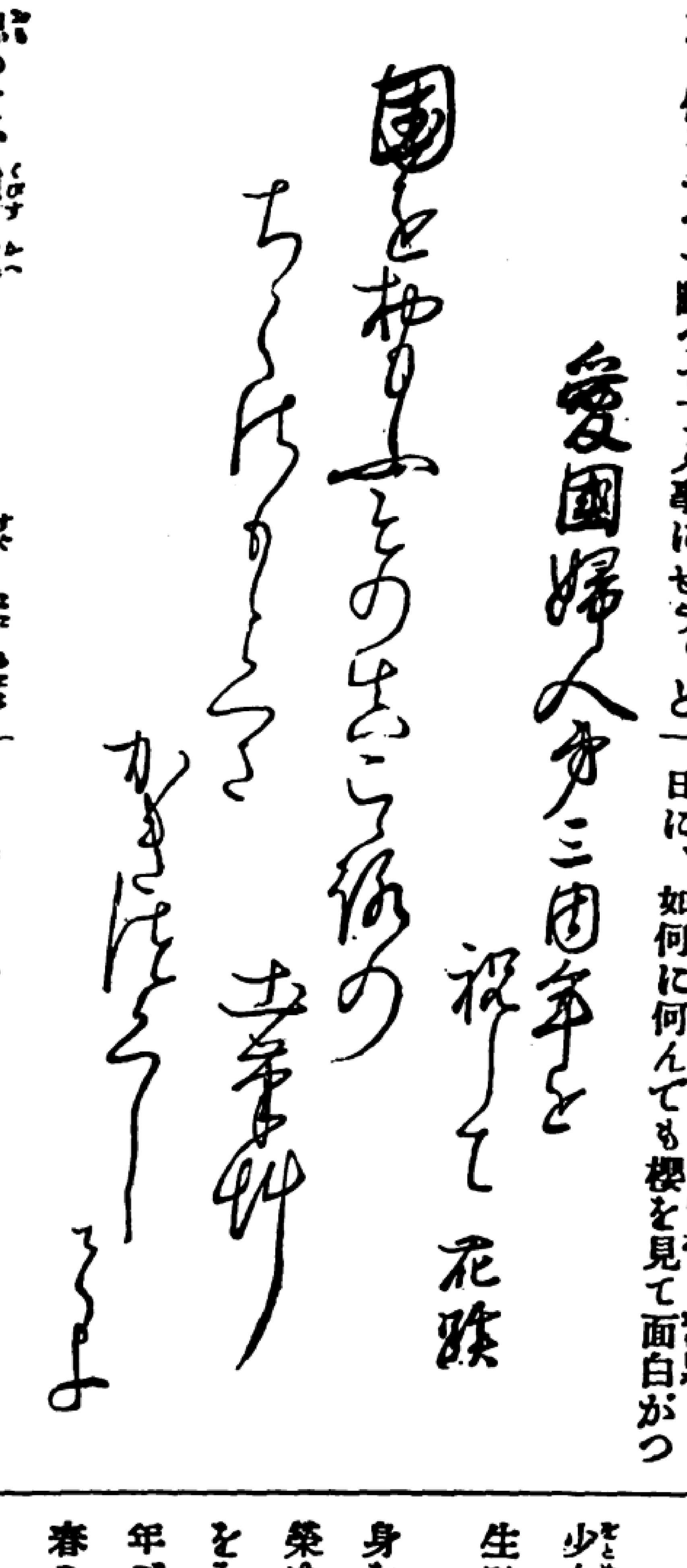
「イヤ、今日は友人の一周忌だつたのだ己はすつかり忘れてゐたが今案內のハガキが來て思ひ出した、私は觀櫻會は止めて、墓參りに行く事にした。」「だつて良君：：：そんな事があるもんでございますか、眞實に、良君つて、あんまり沒分曉事を仰やるぢやアありませんか。」「沒分曉事はない、思ひ出さなかつたのは此方が惡かつたので、友人の一周忌の日に、如何に何んでも櫻を見て面白がつてる氣には私はなれないのだ。」「ぢやア大臣へは義理を缺いても善いと仰やるの？」「私も一寸迷つたけれども、よく考へて見ると、國家の爲に死んでくれた友人の一周忌の日に、墓參りもしないで花を見て浮れてるやうな人を、大臣も義理堅い人だつて、褒めやう謂はないさ。觀櫻會へは、事情をすつかり打明けて斷り狀を出す事にせう。」

雪子も口を噤んだまゝ首うなだれてゐる。

「汝も行つて墓參りをしてやつてくれないか、私が若し兵隊に出て戰死したんだとすれば、今日花見處ぢやあるまいてはないか。友人の妻君の心になつて考へて見てやつてくれ」といふ聲音はいとゞしく慄えてゐる。

雪子もしきりと眼尻を拭うてゐたが、

「私も御一緒に參らせて戴きませう。」涙がぽろ〳〵と頰を傳ふた、馬は玄關先で勇ましく嘶いてゐる。（完）



○愛國婦人會第四回總會を祝して

○愛國婦人第三周年を祝して

會長　公爵夫人　岩倉　久子

おこたらすつとめたまひし人々の　まことはいまにあらはれにける

このふみもまとゐとともにとし月の　かさなるまゝにいやさかゆらん

理事　前公爵夫人　近衞　貞子

もろともに榮ふけふこそたのしけれ　よとせのはるをかたりかはして

たゝみとせへたるわかきの花なから　そのなたかくもよにかをりつゝ

理事　侯爵夫人　鍋島　榮子

少女老媼ちからあはせてくにのため　つくすこゝろのみゆるけふかな

生ひいてゝいまたみとせの春なれと　さきまさりゆく籬の花かな

監事　公爵夫人　九條　惠子

身をすてゝ國につくせるますらをの　心やすめんわざはこのわざ

榮ゆれはさかゆるまゝにはげめ人　心のこまにむちを打つゝ

をみな子よ心あはせてけふよりは　いよゝますく〵つくせ御國に

年ごとに色香もまさるさくら花　千とせのはるやいかににほはん

春ことに華のはやしに咲く花の　かをりもたかくいや榮えつゝ

監事　男爵夫人　三井　苞子

もろ人のなへていそしむ心こそ　やがて御國のひかりなりけれ

しげりあふ文の林に分入りて　人の心はひらけゆくらむ

評議員　男爵夫人　千家　俊子

世につくすわざは男におくれしと　つとむるもとに四とせ經にけり

國をおもひ人をたすくるしわさこそ　世に二つなきたからなりけれ

年のはに咲そふふみの花見れば　人のまことの種はつきせし

見る人のおほくなりゆくこのふみの　數にもしるし國のさかえは

評議員　跡見　花蹊

天つ日の光りのもとにほひあひて　よにかくはしきはなむしろかな

國をおもふそのまこゝろの土筆草　ちくさもゝくさかきつくしてよ

評議員　三輪田　眞佐子

よとせへしそのゝなよ竹この春は　いや榮えゆく色そ見えける

國をおもふ心の花のさきにほふ　文のはやしはみとせへにけり

評議員　南鄕　柳子

國のためいはゝさらめやつとひよる　ともはとし〳〵かすまさりゆく

世の人にむかへられつゝ三年へぬ　かくてちとせもつゝけとそ思ふ

評議員　中山　幸子

みめくみのふかきみこゝろよせられて　けふの行啓そかしこかりける

としことにふみのはやしのしけりつゝ　ことはのはなのかくはしきかな

評議員　有島　幸子

御惠みの光になほもさかゆらん　まとゐのにはの千草百くさ

春毎にことはの花も咲そひて　ふみの林もいやしげるらむ

評議員　高木　鎜子

月に日に皇國をおもふをみな子の　數そふ今日のまとゐ嬉しき

かくはしき大和をみなか眞心の　花咲きさかゆ文の林に

◎第二回作歌募集披露

題　○愛國婦人會の總會を祝して　○「愛國婦人」の三周年を祝して

たちならふかすも知られぬひめまつに　くにのさかえも見ゆるけふかな　東京　會員　岡田　春子

咲匂ふはなも三とせのはるに逢ひ　世にさきだちてみをや結ばん　東京　會員　爪生　保子

とこしへに榮えゆくらむ三年へし　けふの光をみるにつけても　山梨　會員　小尾　玉代子

咲初てこゝに三とせの文の花　いよゝ盛に成まさりゆく　兵庫　會員　栗飯原　ふさ子

國のためつくす女のまこゝろの　花かんはしきまとゐなりけり　群馬　會員　伏島　たき子

さらにまた幾代の春かかさぬらん　三年に匂ふふみのひとひら　熊本　會員　日高　かず子

九重の雲井にまでもひゞくなる　けふのまとゐそたふとかりける　東京　會員　大塚　里子

大御代の幸に報ゆるいしづゑも　四年の春を祝ふ嬉しさ　東京　會員　角田　きく子

東なる都に集ふ人々と　ともに祝はん萬代までも　石川　會員　新田　陳子

國の爲つくすおみなの數そひて　よろこびつどふまとゐうれしき　東京　會員　今村　たま子

ひとすぢに皇國を思ふ心から　集ひ來にけり遠近の人　茨城　會員　綿引　靜子

いさましくをみなながらも團居して　み國に盡すこゝろをゝしき　愛知　會員　石川　るゐ子

見る毎に文のはやしの茂りゆく　三年の春の花ぞひらきぬ　東京　會員　爪生　保子

三とせかみうつしうゑにし言の葉の　いや榮え行く御代ぞめでたき　東京　會員　白田　はつ子

數ならぬわか身もいとゝうれしけれ　つとひにきはふ今日のまとゐは　京都　會員　風岡　さく子

◎第三回作歌募集

△歌題　愛國婦人會總會に皇后陛下行啓について

△選者　某公爵夫人△作歌數　一人一題三首以下△期限　四月十三日限り△優等の作歌は本紙に披露し高點者五人に貴婦人自筆の短冊を進呈す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

火災の豫防と避難の注意

消防司令官　實田通經

●火の用心　火災の起るのは洋燈や烟突ばかりでなく火消壺も危險いやうに存じます火消壺には煉瓦か石を敷いて火を入れたる時は蓋の隙無い樣にして其後一度はお見回りを希ひたい提燈からも往々火事が起ります二階や物置や土藏の中に提燈を置き忘れて蠟燭が燃切る時分に火氣が強くなり出火する事も多い全體土藏と物置は安全なる手提の燈籠を用ゐ提燈は成るべく使用せぬ樣に致したい今一つは灰の始末です取灰は火のあるのに氣付ずして焚付けの側に置いたり物置に入れるので火事の起りたる事例が度々ありますから是も燃料に遠い處に置いて下さい

◉消火器　消火器は小火の時には十分消火の效力はありますが長い月日には藥汁が噴き出して鐵罐の腐蝕するので折々藥汁を詰替へ又は效力の試驗をする必要があります異鈴製の罐ならば其虞が少い一時の消火用としては日吉商會の發火粉も宜しい先日申上げた龍吐水のぽんぷは小形にて持運に便利なる輕便ぽんぷの事で消毒用にも兼用の出來る物であります。

◉避難の心得　火事場で人命に過ちのあるのは老人が炬火を抱いて寢たる時掛物に火が移りて燒死する場合が多い今一つは一旦避難してから大切の物を取りに戻り煙に捲かれて斃れる人が隨分あります故に老人や子供衆は湯たんぽを御用ゐになり又御婦人方は大切の品物は最初よりお持出しになりまして火の移りたる家には再度お還入りにならぬ樣に致したいと思います

◉出火場の混雜　出火の時彌次馬と言ふ見物人の多いには甚だ困ります上流の御方には無い事ですが壯年の人と小僧等の火事見物は消防専務者の水管を延す時抔混雜を極め手後れになる事が往々ありますから成るべく出火場に關係の少い人は燒點より二丁以内には這入り込まない樣にお召使の者に御注意を乞ひたいと存じます。

鏡喩

平木白星

「吾子よ、見たりや玻璃の面、
鏡にうつる薔薇の顏を
「いづこの母の愛し見の
誰にか育たる小孃
「呼んで見や」とて寢覺め見を
擁きあぐれば――誰が姿
桃郎子がいぶかしと
たとへば鹿をや覘へる
空に掴めど、十の指
一つ一つにかひぞ無き
「泣けばさながらうつる像
然よ、いらだつか幼な心
「我が愛の主、汝が醜くを
眞似てかなたの不識嫌や
「理を解き戀を知る將來の
處世のをしへ、この鏡
「自己が心のただしくば
曲りてうつる影はなく
「この想ひを――それながら
動くこころの人ごころ
「嘲笑、猜疑、迷妄とて
みな我が描く我がかたち
「(愛とは「我」を愛づるにて
「我」を厭ふぞ憎惡なる)
「吾子が穏しくほほゑむに
眉昂ぐべきや何人か
神とは我のこころなり――
愛よ、汝にあれ汝がふところに」

東京市麴町區錢瓶町（常盤橋内）
日本興業銀行
電話本局（三、三〇〇番 四一一番 （特）三七番 一〇二番）
一定期預金　年五分
一當座預金　日歩七厘
一特別當座預金　日歩一錢

内外各博覽會賞牌受領
經濟高雅 御敷物籐筵
育兒用安全形 乳母車 新式ゴム車輪各種
小兒運動用 三輪自轉車 同
夏季用籐製 寢臺椅子
日本橋區横山町三丁目角
大坂屋本店　小菅恭太郎　電話浪花二二一八番

[illegible]
日本橋ふきや町電話浪花千二百七十番

東郷花 其他流行花束 花簪係繩製造
本郷三丁目三十一番地
東郷造花店

玉洗粉
卯甲製造
東京馬喰町 酒井玉盛堂

造花材料
日本女子大學校御用
共立女子職業學校御用
日本女子美術學校御用
造花材料
造花器械
造花用繪具各種
摘み細工原料
花簪原料
根掛原料
刺繡用金糸平金類
和洋リボン各種
東京日本橋區横山町一丁目十六番地
天野卯兵衛商店（特電話浪花一六四三）
（定價表御入用の方は往復葉書にて申込）

◉色白くきめを能くする
ホーサン石鹸（大形廿錢 小形十錢）
◉本品を常用せば身体を白色艶麗ならしむる事を保證す
◉全國到る處實藥小間物化粧品店に於て販賣致居り候
◉近來類似品之れ有り候に付松澤名前に御注意を乞ふ
東京本石町四丁目 芳香藥師問屋 ムスク香水本舖
松澤常吉
●見本御入用の方は往復端書にて御申込あれば送付す（但し愛國婦人と記する事）

米國醫學博士ジャス氏發明藥
齒藥之王
日本醫士留實驗頌讚功能保証
一六散
齒の痛直に止る保証
齒の腐蝕崩碎を止る
齒の惡熱を去る
齒の動きを能く締る
價格送料共八錢 各藥店に取次
毒にならず口の荒も共に治る呑でもよし
東京木挽町九丁目八番地 木原山石堂藥房

日本女學校生徒募集
寄宿舍あり
◉規則入用者は二錢郵券を送れ
◉附屬小學校新設
尋常一、二、三、四年 高等一、二年生募集
本郷龍岡町

寫眞撮影 [illegible]

薔薇麝香入
登録商標 水晶おしろい
糸妻薄化粧
東京通塩町 大和屋 大賣捌

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰報

◎開原占領　奉天占領後敵を追擊し去月十九日遂に開原をも占領せり

◎昌圖府　開原より北約六里なる昌圖府を占領せり

◎波艦隊の動靜　第二艦隊のみにては到底我艦隊に敵する能はず依て應援として第三艦隊を派し更に第四艦隊を派遣する旨聲言せるも到底其實行を見る事能はず東航と云ふも畢竟其の所在を陰匿するに外ならざるべし

世界のしんぶん

◎印度の理髮師　は客の鬚髯を剃るに極めて巧妙なり大抵客人の眠り居るまゝにて剃るに少しも動搖の爲に眼を醒まさしむる事なしといふ

◎大女　此程ベルジューム國に於ける最大の女死去せしが年齡五十にして身の丈八尺重量三十九貫あり生存中は諸方より見物の人引きも切らざりしといふ

◎ピストルの名手　英國軍艦「ワイルドファイヤー」號乘組兵曹レーヴンといふもの十間の處にて的を擊ちたるに一度も外れず二十五間の處にて一度外れたるのみにて百六十七度は射損じなかりしかば其賞として金牌を得たりといふ

◎巡査の古服　はアフリカに輸出せられ其數非常に多く土人と椰子油、象牙、革其他の商品と交換せらるゝなりと、夫れ故アフリカ内地にては黑奴がロンドンの巡査の正服を着し正帽を戴けるもの少からずといふ

◎「コサック」兵の迷信　露國軍人特に「コサック」兵は戰死の時身體清潔ならば常人よりも善き極樂に行かるゝものと考へ戰爭前には念入りに化粧し且つ最立派なる服裝にて出陣すといふ

◎世界最大の蟹　米國の一博物館中に陳列せられたる蟹は總長さ十二呎にて世界最大のものなり躰は大凡一斗の穀物を入るゝに足り二本の腕は人の身躰を圍むべく、八本の足は竹の棒の如しとぞこれは日本近海の產物なりと

◎不思議の免禍　此程二千噸の船の進水式ありし時或る人其船の降り口に小舟をつなぎ置きたるに船の動き出したるを見て己れの小舟を救はんとて大船の來るも顧みず小舟に乘り移れり然るに傍觀人は早く舟を臥すべしと叫びたれば其通りになせしに大船其小舟の上を通過して一時其形を見ず暫時にして再び浮び出たるなり見過しに幸なるかな其男も小舟も恙なかりしと

雜報

◎有栖川宮殿下　屢々記載したる如く有栖川宮威仁親王殿下には長き過りの御沙汰を以て獨逸皇太子殿下御結婚式御參列のため妃殿下御同伴齋藤局長以下隨行員を從へさせられ去る一日新橋御出發渡歐の途に上らせらる

◎韓國祝捷大使　韓國よりして我國に祝捷大使を送られたり

◎各女學校の卒業式

◎女子高等師範學校　去月卅日擧行校長より有益にして要領を得たる訓示ありたり

◎三輪田女學校　去月廿六日擧行菊地男爵の有益なる演說ありたり

◎女子美術學校　去月廿五日擧行細川男爵の演說ありたり

◎日本女學校　四月九日擧行の答

◎三田高等女學校　四月一日擧行せり

◎成女學校　四月三日擧行せり

◎東京音樂學校　三月廿七日甲種師範科卒業證書授與式を擧行したり

◎女子英學塾　四月一日卒業式を擧げ横井時雄氏の演說ありたり

◎女子商業學校　去月廿八日擧行せり

◎東京女學館　去月卅日擧行せり

◎時事新報　四月二日の社說に於て愛國婦人會に於て速に廢兵院を設立すべき旨を論じ總會の席上に於て議決し其準備委員を設け調査に着手すべき旨の文を掲げたるが愛國婦人會には既に各國の廢兵院の事業について取調を爲し居れり

◎軍人遺家族の摘草店　向島白髭附近の有志者は最寄に居住せる軍人遺家族の婦人子供をして花時中嫁菜、芹、土筆を摘み取らせ之を蔦包に入れて白髭社内に摘草店を出させ所得金は悉皆遺家族に配賦する趣向なるよし

◎東京市内出征軍人家族扶助額表（金高は圓位に止む）

區名	戶數	人員	一箇月支出高	寄附金現在高
本鄕	二三一	四六八	一二〇〇	一、五〇〇〇
下谷	二〇〇	三四〇	六〇〇	一、〇〇〇〇
淺草	七〇〇	一五四〇	三〇〇〇	九〇〇〇
本所	四七九	一四五五	一九三五	六〇〇〇
日本橋	三五五	四七三	二四四九	一、三五〇〇
芝	三六九	九五〇	一三九三	五〇〇〇
小石川	二七六	五九七	九五二	一、〇〇〇〇
牛込	二一八	五八一	六一〇	八九〇〇
深川	三六九	一一六五	一六〇八	一、三六二二
麻布	一九四	五二六	八二六	八六九三
赤坂	一三四	二三二	八〇〇	二一五八
四谷	九五	一一七	二五七	四三一二
神田	四一五	一一二五	一一三七	一、四〇〇〇
麴町	一六〇	三七五	七七七	一、三〇〇〇
京橋	三三〇	一三〇〇	一二七〇	一、八〇〇〇

（備考）前表中人數と一ヶ月支出高との間に比例を得ざるは各區とも其支給額を異にし且つ大人と小見とに依りて其供給の異なるに依れり

◎妖怪研究の材料蒐集　小石川原町哲學館の妖怪研究會にては今回の戰爭に就き怪實報道を左の項目に付き蒐集せり

一 感通（戰地にて死傷せし時に其血緣あるものに前知らせ又は夢知らせ等ありたる場合及び鄕里又は家族中に異變ありたる時に戰地に於て感知したる場合の如きをいふ）

一 前兆（戰死又は負傷の前に本人の身上又は見聞上に兆候ありし場合をいふ）

一 奇運（世の所謂天助神護によりて萬死に一生を得たるの類例へは携帶せる御守が彈丸を障へて負傷を免かれたるが如きをいふ）

一 奇瑞又は異變（戰時中に普通の道理を以て解し難き奇怪の現象に接見したるをいふ）

社告

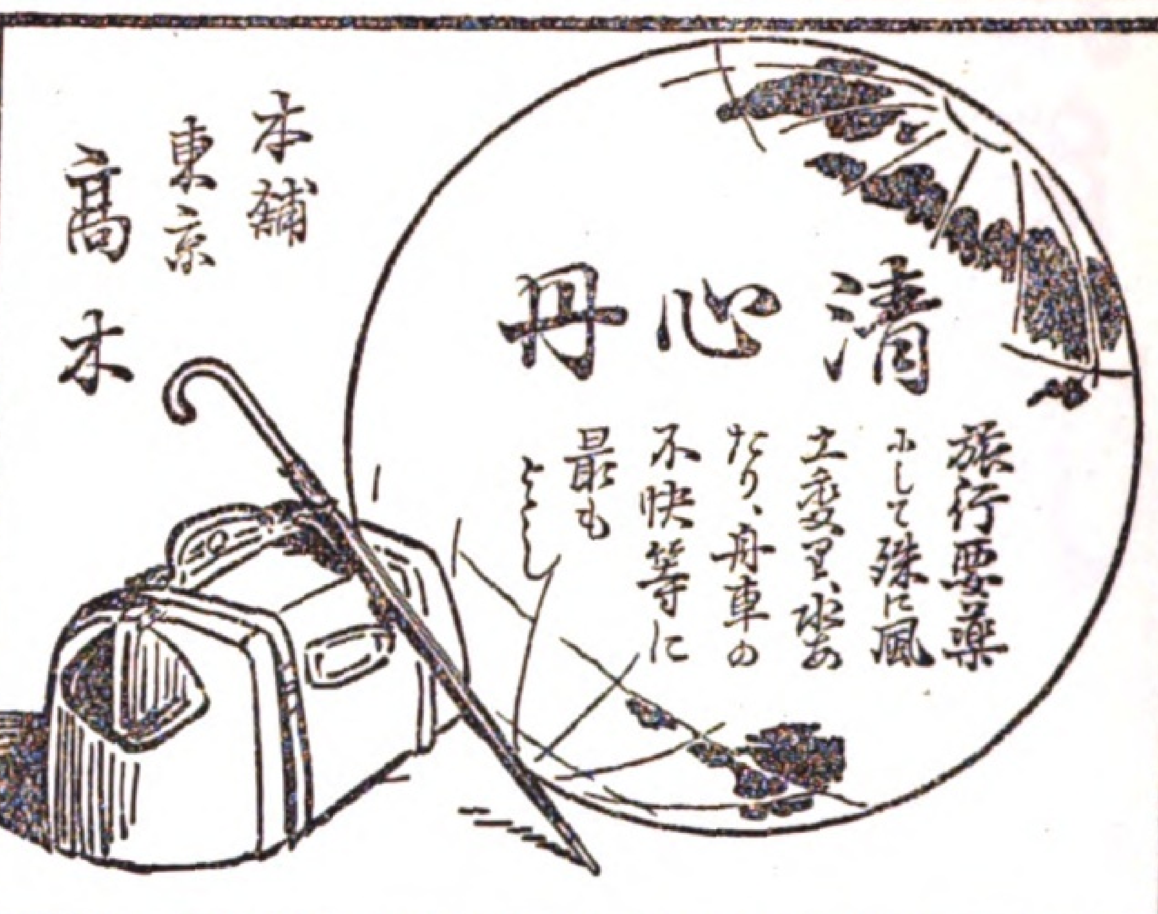
◎本紙の體裁を改め五段となし一段を增せり當分見なれざる爲に不愉快なるべきも暫く耐忍あれば反ッて見易くなるべきなり

◎新聞代も滯りなく讀者より拂込を辱うし帳簿を繰返して見るも殆んど不納の方なきに至りしは發行所の大に誇る所なり

◎併し二三の方にして始より未納の方も有之此月は送らるゝか來月は送らるゝかと心待ちに待ち居るに遂に來らざるあり

◎不納の方に新聞を送らぬ事とすれば恰も深き信友に別るゝが如き心地致せるも餘儀なき事につき未納者には配布を中止致すべく候

愛國婦人發行所



清心丹

旅行要藥にして殊に風土変更、水あたり、舟車の不快等に最もよし

本舖 東京 高木

正札附　廉價販賣

意匠斬新

元結、笄、かんざし

リボン、ヘーアピン、サイドゴム

東京市神田區須田町十番地

鼈甲小間物商　三ツ井屋　電話本局二〇七六番

神田神保町東明館内支店　新橋ぎわ博品館内支店

家庭之友

第參卷第壹號（四月三日發行）要目

我家の家庭教育　チャペル夫人

子供の夜具……佐々夫人案

主婦と修養……羽仁もと子

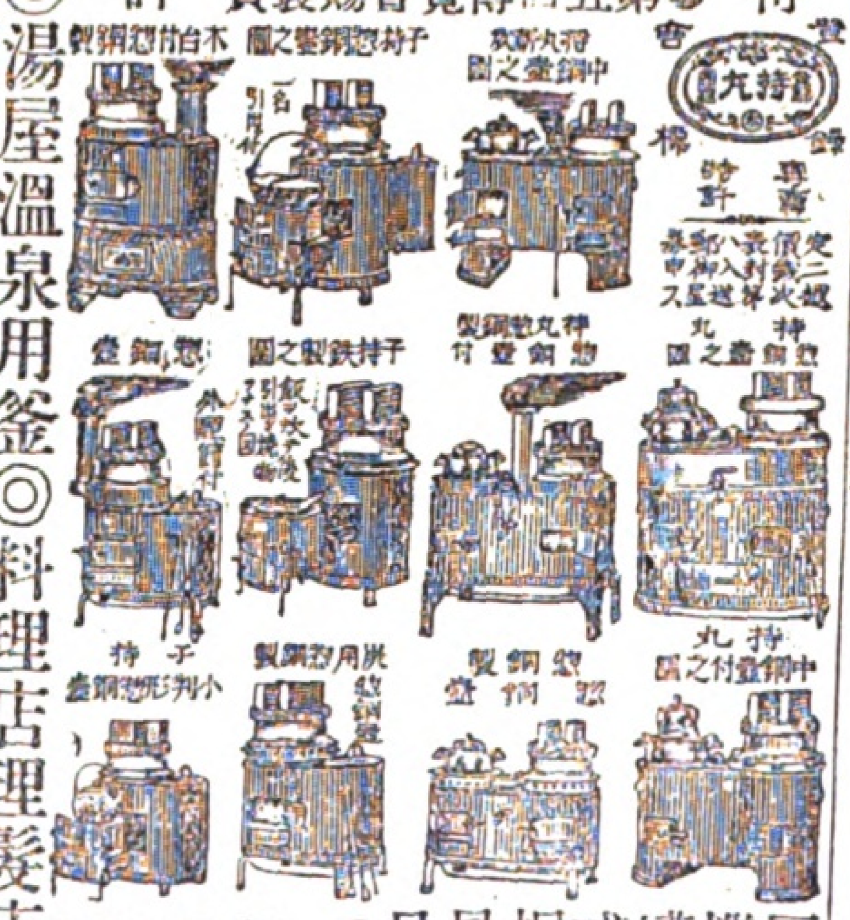
支那料理七種　▲健康兒一年間の授乳時間表　▲牛乳にまぜる食物　▲病氣の原因と心の癖（西有穆山老師談）　▲吸入器の說明　▲育兒問答　▲家政問答　▲我家庭の缺點　▲禁酒禁煙實驗談　▲玉子殼の花園（子供の園藝）　▲マトの友だち

第二卷合本出來　總クロース美本　裝釘　郵稅共七拾錢

第壹卷合本第六回製本出來　體裁代價右に同じ

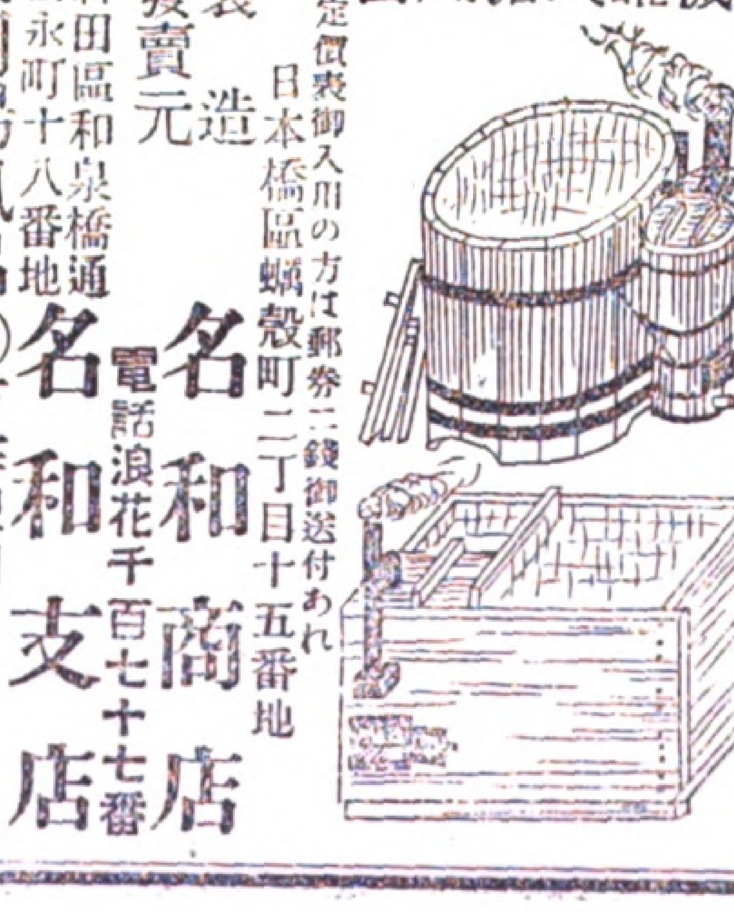
發行所　東京本鄕西片町十番地　内外出版協會

特許　第五回博覽會褒賞賜



◎湯屋溫泉用釜◎料理店理髮店用湯風呂◎豆腐箱

同機罐式据風呂



◎定價表御入用の方は郵券二錢御送付あれ

製造　日本橋區蠣殼町二丁目十五番地　名和商店

發賣元　神田區和泉橋通松永町十八番地　名和支店　電話浪花千百七十七番

海軍中佐子爵小笠原長生著

日露戰爭軍事談片

▲實價四拾錢　郵稅六錢▼

本書は小笠原海軍中佐が集會の席上若くは各新聞の軍事擔當記者に對し口述せられたる談片を蒐錄せるものにして日露戰史を編むものゝ好材料たるべきは勿論一般讀者にも軍事的智識と趣味とを與ふると鮮少ならず是を以て弊堂は同中佐に乞ひ得て一篇となす其載する所或は軍國民の心得置べき要件あり或は壯快なる戰爭談あり或は名將勇士の逸話あり盡く是再讀三誦の要あるものなり

東京日本橋　春陽堂

小瓶全形

麝香印　ムスク香水（大瓶一圓　中瓶六十五錢　小瓶廿五錢）

●本品の特色は芳香の永く保つ點に於て頗る高評也

東京日本橋本石町四　ホーサン石鹼本舖　芳香藥師問屋　松澤常吉

箪笥長持　御婚禮道具一式調製

調製品目

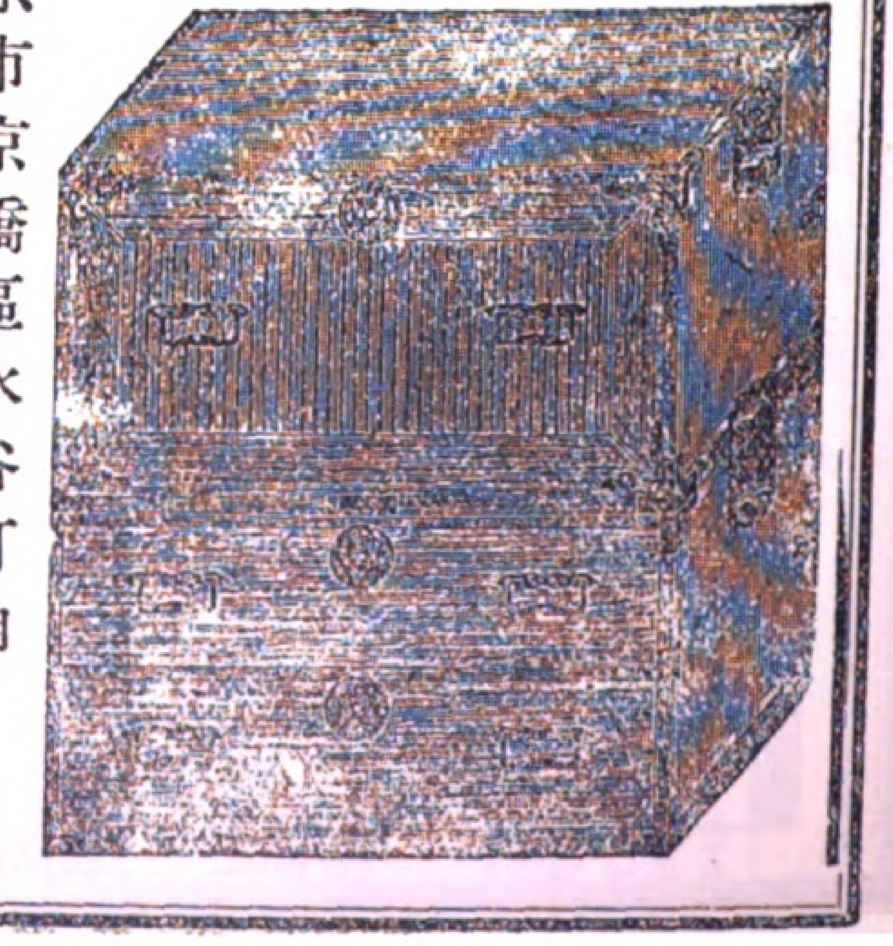
御婚禮用　箪笥、長持、鏡臺、針箱、洋服たんす、帳場たんす、本箱、机類、用箪笥、桐箱類、羽織たんす、夫婦たんす、外各種箱類

尚弊店は御客樣の御便利を計り箪笥陳列場の設有之候間御隨意御來觀被下度候

たんす目錄　御申越次第呈上候　但し郵券二錢封入御申越の事

◎數代老舖　◎精製確實　◎廉價販賣　◎不誤時期

清



東京市京橋區水谷町角　越中屋本店　鷲塚箪笥店　電話新橋五百七十一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎牛豚肉販賣及西洋料理◎

◎品質佳良なる肉類最も廉價に販賣致候
◎配達は遠近を問はず迅速且つ正確に致候
◎滋養と風味に富たる西洋料理調製致候
◎西洋料理の出前は格別相働き調進致候
◎米店は精撰せし白米廉價に販賣致居候
◎御注文は電話又は葉書にて御一報被下度候

小石川表町廿二番地 電話番町六五九 西川本店
本郷區駒込東片町五番地 電話下谷二三七一 西川支店
小石川表町十一番地 電話番町一四六一 西川洋食店
小石川表町十八番地 米穀商 西川嘉門

保險附大安賣
本店 神田區小川町電話本局四八九番

支店 京橋銀座貳丁目電話新橋八三三番

祝勝を重て益々報國の念を增す嗚呼しくも戰場の心して願敷ば紀念品御專料也元方直上げに寄らず利益を論せず

美術品製作販賣

眼鏡指環手釦煙管金具帶止袋物各時計白銅二圓ゟ卅圓銀側四圓ゟ百圓各乞御助勢の榮を
送費無料爲替新橋局代金引替は送費十五錢郵券にて不苦

東京新橋日陰町二丁目角
東京 時計館本店 電話(新橋六七〇番 全三九六四番)

東京銀座尾張町日報社眞向
時計館支店 (支店電話新橋三九五番)

小杉天外著
春陽堂發行
東京座新狂言
魔風戀風
前編十版 中編八版 後編六版 全三冊
實價各六拾錢 郵税各八錢

商品案内

○銀側兩蓋之部 流行薄手形
價八圓半 瑞西石入向爪アンクル
價十圓半 同懐石卷上向アンクル
價十三圓半 同裏三枚懐石卷上向爪
價十四圓 米國中蓋付切天武向爪
價十七圓半 米國中蓋付上等品

○金側兩蓋之部 流行薄手形
價三十三圓 瑞西國六金側御婦人持
價六十九圓 瑞西六金側中形紳士持
價七十九圓 米國製六金中形紳士持
價九十五圓 瑞西18金側形18紳士持
價百十五圓 米國製18金形18紳士持

無代進呈
東京市京橋區銀座一丁目 電話新橋(特)二三三一
伊勢伊時計店

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行 電話(特)本局六七三番

定期預金 六ヶ月以上 年五分三厘
當座預金 百圓に付日歩 八厘
特別當座預金 同日歩 壹錢壹厘

女子高等師範學校教授 文學士 下田次郎氏著
女子教育
菊版七百九十二頁 定價金貳圓

本書は女子の身體及び精神の研究を基として、新女子教育を説けるものにして、歐米女子教育の歷史及び現況亦詳述せらる、實に本邦未曾有の大女子教育書なり、同事を異語もて記せる千篇一律の女子教育中、意見の卓抜材料の新鮮豐富なる他に其類を見ず、されば女性にして自らを知らんと欲する者、女子を教育する者、世界女子教育の大勢及び女子教育研究の程度を知らんと欲する者は、本書を措て其要求を充すこと能はさることを確言するに躊躇せさるなり

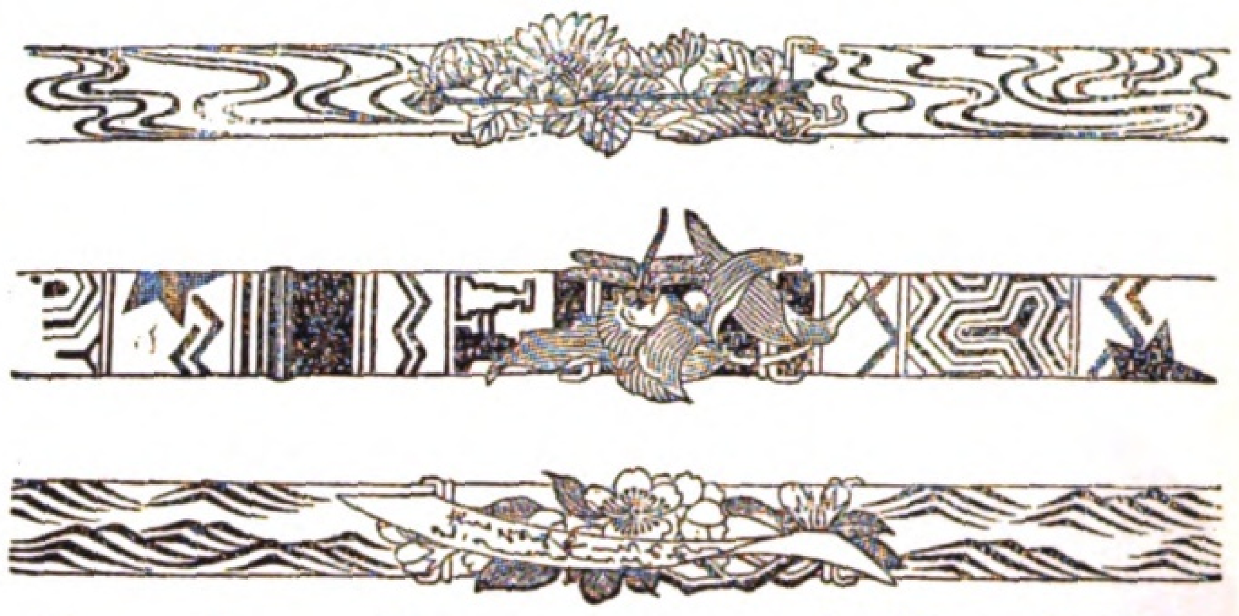
發兌元 東京市日本橋區本町三丁目十七 金港堂書籍株式會社

東京日本橋駿河町
三越呉服店

來る四月一日より同三十日まで
第九回新柄陳列會
並に
模樣參考蒔繪陳列
諸名家秘藏近古衣服陳列
寄せ裂れ見切り反物大賣出し
明治三十八年三月

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

美術彫刻帯留



金具は黄金白金銀赤銅朧銀を以て花鳥山水又は古歌の意を應用せしもの或は戰捷にちなめる最新の圖案を都下名工の彫刻せしもの或はダイヤモンドルビー眞珠其外諸寶石を鏤入し紐は綴錦縫取或は金襴朱珍等何れも金具に相應しきものを附したる精巧の品に御座候

○金製彫刻金具付（御わか向二十圓以上六十圓迄／御じみ向十二圓以上廿五圓迄）

○同寶石入金具付（二十圓以上七十五圓まで各種／ダイヤモンド入り五十圓以上）

○銀臺彫刻金具付（御わか向き三圓以上八圓まで／御じみ向き二圓以上六圓まで）

東京市京橋區尾張町
白牡丹本店
特電話新橋五五一番

貴婦人令嬢方 **觀櫻會**
最必要花見草履

◉千代田草履 價貳圓前後
◉志喜島草履 價一圓七十錢前後
◉東　草　履 價一圓五拾錢前後
◉南部表裏草履 價一圓以上
◉江戸子草履 價一圓三十錢以上

右之品意匠斬新珍品澤山取揃有之市内ハ御報次第店員可伺爲候遠方ハ御申越次第引換小包ニテ御發送可申上候

登録商標 香

東京市淺草區茅町貳丁目
香取屋本店
電話下谷壹壹九二番

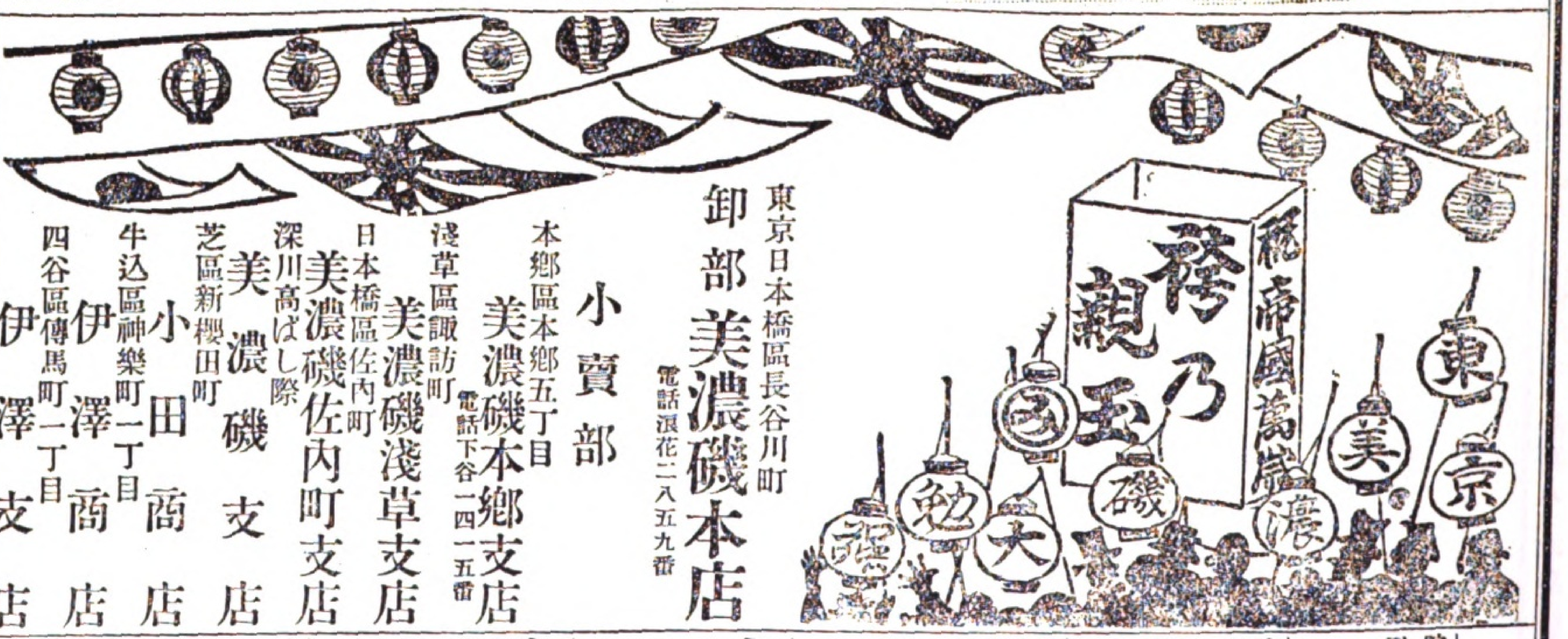
高等香油 チエリーオイル
紳士貴婦人令嬢用

品は無色透明さらく〱として此の如く香氣は香水に異ならず故に紳士は勿論、貴婦人令嬢方に目下大いに流行され彼の東髪用としては非常に高評を博しつゝあり

定價八十五錢、四十五錢、廿五錢（送料各十錢）

賣捌は全國有名なる小間物化粧品店にあり

東京日本橋區本町二丁目
發賣元 高橋初次郎
特電四一三番



東京日本橋區長谷川町
卸部 **美濃磯本店**
電話浪花二八五九番

小賣部
本郷區本郷五丁目 美濃磯本郷支店 電話下谷一四一五番
淺草區諏訪町 美濃磯淺草支店
日本橋區佐内町 美濃磯佐内町支店
深川高ばし際 美濃磯支店
芝區新櫻田町 小田商店
牛込區神樂町一丁目 伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目 伊澤支店

正札附陳列場
中久商店
西洋小間物 帽子各種 內外化粧品 文房具
東京神田 神保町一番地

醫院案内

院長 醫學博士 榊順次郎
副院長 醫學士 久保德太郎
婦人科産科榊病院
東京麹町三番町卅三（電話番町三九五）

耳鼻咽喉科院 診療毎日午前
院長 ドクトル **山上兼輔**
四谷區本村町三十七番地
電話番町七三〇（士官學校前）

ドクトル **川瀬元九郎**
東京市麹町區隼町二十八番地
内科一般 内科的小兒病
身體檢査并に**運動療法**
診察午前中（電話番町八二三番）

小兒病診療
宅診午前 往診午後
淺草區福井町貳番地
醫學士 **内田愼太郎**
●電話下谷七一八番

齒科治療
横濱出張 毎日午前八時ヨリ午後五時迄
毎月曜日横濱市高島町十八番船橋方
京橋區南金六町一一番
名倉齒科醫院
電話新二二六三

院長 醫學士 **鳥山南壽次郎**
午前診察 午後往診
京橋區鎗屋町十一番地
電話新橋千七百四十六番
鳥山内科院

●**水原産科婦人病院**
○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百〇〇九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

るゐれき　切らずになほす
○心臓病（殊ニ瓣膜病）
○脚氣（轉地不必要）
神田區三崎町三ノ一新三崎座前（診察午前）
千葉内科院

◉婦人科專門 午前宅診
◉小兒科 午後往診
東京市麹町區飯田町四丁目九
女醫鷲山彌生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（明治三十八年四月五日發行（毎月五日二十日二回））

◎特約販賣店
◎東京堂 神田區表神保町三番地
◎東海堂 京橋區銀座四丁目

油染油垢でも掃ずに脱る奇代の原料

世界無比 新發明 英國製ワッセル

◎此ワッセルは湯一升に二匁（小盃へ半分）餘、の割合にて溶解し洗濯物を凡貳時間浸し揉まずに置き後水にて洗へば自然に脱ます白地の着物シャツ足袋等には石鹸より數倍の効用があります

◎婦人の髪は一匁五分（小盃へ半分位）を一升餘の湯に溶解して洗へば玉子と同様の効用があります脂肪多き身躰に常に使用すれば皮膚を密にします尤も水虫糸かせ手のあれる事は決してありません

◎食器臺所道具は勿論戸棚板の間の拭掃除にも有効です絹木綿毛織物を晒すに至極妙です又硬水を軟水にする特効があります蒸汽管の鑵石も奇妙に除去ます

芳香ワッセル

◎此ワッセルは香料其他衛生に適する各種の原料とを加味せしものなれば朝夕御用ひの方は香氣馥郁として色を白くし總て皮膚の患にかゝるとなし又おしろい下を用ひずして御化粧の出來る事妙なり

ワッセル水　ワッセル石鹸

◎此品も芳香ワッセル同様の有効品でありまず論より證據一度御用ひあれば其効能はすぐ知れます

東京京橋區卅間堀三丁目河岸
英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌あらい芳香ワッセル製造元
三友商會
（電話新橋千七百十一番）

費用と手數を掃き無害有効の洗淨品

●●●
第一軍從軍寫眞班撮影
大本營陸軍部御許可
征露實地活動寫眞（フイルム）及幻燈映畫
外國製 日露戰爭及餘興（フイルム）◎活動寫眞器械 新荷多數到着
日露戰爭幻燈映畫より第一回六回迄◎幻燈器械 各種
詳細の定價表は御報知次第進呈仕候
東京新橋南金六町十三
（電話特新橋三七八番）
吉澤商店

花玉石鹸本館
東京馬喰町 長瀬富郎製品

白色くきめをよくする二八水

本品は皮膚に有効なる最新藥を選擇し又香氣は上流社會に專ら流行の「ローズ」「オーレツト」を配合せり
中壜一本 拾五錢

目ゑり 帯揚類
春陽季節御需用草花柄新柄取揃
○春季用ショール花鳥帽子織　縮緬縫刺　旭織類
○男女方襟卷　長襦袢　襦袢袖　肩裏地　帶片側
○兵兒帶絞り　戰捷柄ネクタイ　滿洲占領ひも類
新橋竹川町十二番地 電話新二〇二七 本店 ゑり治
神田表神保町一番地 電話本局九五二 支店 ゑり治

煉香油 男女コスメチック代用品
パール
少男女欠クベカラザル毛髪用の一
皮膚用 湯の花石鹸
湯花を加合一あり故に全身のふきでもの一切に特効ある最良の化粧石鹸なり
婦人コスメチック發賣本舗
東京濱町一（花屋敷通）
平尾分店 電話浪花一一〇

新案 戰捷記念指環一班

（一）（二）（三）（四）
一、二號十八金製 價五圓半
全銀製金メッキ 價壹圓廿錢
三、四號十八金製 價六圓
全銀製金メッキ 價壹圓半
（市外郵送料金廿錢）
但白金象眼製ハ本價ニ金五十錢増額ノ事
他金銀白金製若クハ各種色彩七寶入象眼入等ニテ戰捷紀念ニ因メル記章、帽章、襟針、襟止、手釦、留方針、寫眞入等許多ノ新案製作セシメ奉應需候ニ付御來觀ノ上御購求ノ程奉希上候
東京市京橋區尾張町二丁目
時計及寶玉類内外雜貨貴金屬裝飾品銃砲火藥商
天賞堂
（電話新橋特三三三、三一五三）

從四位淺田宗伯先生直傳
淺田飴

良藥にして口に甘し
定價 金五拾錢 金參拾錢 金貳拾錢 金拾錢
本品全國到る處の藥店に販賣す
本家 東京神田鍛冶町
大阪北久寶寺町
堀内伊太郎

新形 銀製指輪

一號櫻花形七寶入一個參拾錢
二號海軍形錨金消一個參拾錢
三號赤十字七寶入一個參拾錢
○送料一個參錢郵券代用一割增
東京市南傳馬町壹丁目
大西白牡丹
電話本局三十番

戰勝紀念ピン

金銀の地金に七寶の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の紳士淑女たちは各その胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の紀念としたまへかし。
定價（純銀製 一個 金三十五錢以上 餘は御好み次第迅速調製可仕候）
手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠を凝らしあれば世の紳士たちは洋服に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。
此圖案の外陸海軍連勝にちなめる斬新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候
宮内省御用達
東京市下谷區池の端仲町
玉寶堂
電話下谷 特九六五番 一一二四四番

生命あり精神ある戰記
征露戰報
第三拾壹號（三月五日發行）
價拾錢郵税壹錢 一ヶ月二回半年分郵税共壹圓廿錢
◎附録―奉天占領紀念繪はがき二枚（寫眞色刷）
▲口繪十二枚（奉天大會戰寫眞最新到着 是れ皆他誌に於て見る可からざる獨得の珍品!!）
▲記事（征露戰史。天意人語。戰略戰術。名將評論。勇將戰話。名將と家庭。陣中の新天地。戰場逸話。勇將特信。世界の公評。勇士の面影。敵將評論。敵國の事情。鉄筆餘瀝。軍國要報。戰爭文藝等）
旅順攻圍紀念
◎旅順陷落寫眞帖（大好評忽四版成る 價廿錢郵税貳錢）
第三軍寫眞帖
●寫眞版四十餘枚 ◎附録攻圍百話其他 ●價廿錢郵税貳錢（寫眞珍奇印刷鮮明）
◎第一軍寫眞帖（卅錢）◎第二軍寫眞帖（廿錢）
征露寫眞畫帖 第拾貳編（四月十日發行）廿錢郵税貳錢
世間に現はれざる皇太子妃殿下御尊影
東京麴町區有樂町三丁目一 電話本局五一四
實業之日本社
賣捌 各地書店

誤植訂正
前號の本紙廣告欄内右尾澤純良堂藥劑師尾澤橋三とあるは藥劑師大西橋三の誤植に附此段訂正す

諸大醫處方調劑

衛生材料 消毒材料
○分娩用具各種 ○脱脂綿花 ○硼酸綿花 ○脱脂ガーゼ ○消毒繃帶
簡便衛生機械
○吸入器各種 ○體溫器各種 ○灌腸器各種 ○イルリガートル ○哺乳器各種 ○乳吸器
内外藥種賣藥
高等化粧料
滋養飲料各種
東京市神田區今川小路三丁目俎橋通
電話本局一五一八
尾澤純良堂
藥劑師 大西橋三

發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 手島益雄　發行所 愛國婦人會内

印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

明治三十八年四月五日發行(每月二回五日廿日)
明治三十五年三月廿七日(第三種郵便物認可)

愛國婦人第七十五號附錄

評議員
海軍大將男爵井上良馨夫人井上光子

富山縣支部幹事
小西ヨネ子

廣島縣支部幹事
長谷川芳子

發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 手島益雄　發行所 愛國婦人會內愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN